お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

［弊社製品に関するお問い合わせ］
お客様相談センター **ナビダイヤル　0570-001313**
（市内通話料でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS、IP 電話の方は、右記の電話番号をご利用ください。 **☎03-3960-3200（代）**

〒 174-8639　東京都板橋区前野町 2-36-9

営業時間　午前 9：00 ～午後 6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

［ショールーム・写真展・修理受付］
ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**

〒 163-0690　東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル MB（中地下 1 階）

営業時間　午前 10：30 ～午後 6：30
休業日　毎週火曜日、年末年始およびビル点検日

ユーザー登録のお願い
お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
付属していますCD-ROMと弊社ホームページから登録が可能です。
同梱の「PC接続ガイド」（表面右下）をご参照ください。

for your
precious moments

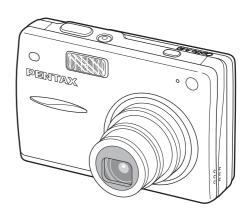
ペンタックス株式会社
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

57953
11-200801
Printed in Philippines

Optio A40

PENTAX

デジタルカメラ
Optio A40

使用説明書

カメラの正しい操作のため、ご使用前に
必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

本機を使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、カメラが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99％以上の有効画素数がありますが、0.01％以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、Optioおよびオプティオ、smc PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
SDHCロゴは商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。
本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching対応プリンターでの出力及び対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching III より前の規格に対応したプリンターでは、一部機能が反映されません。PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching IIIに関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。
Red Eye software © 2003 – 2006 FotoNation Inc. Face Tracker software © 2005 – 2006 FotoNation Inc. FotoNation in Camera Red Eye とFace Trackerは米国特許（6,407,777）と（7,042,505）および申請中特許を使用しています。
DivX、DivX認証、および関連するロゴはDivX, Inc.の商標であり、ライセンス上で使用されています。

PictBridgeについて

「PictBridge」は、プリンターとデジタルカメラを直接接続して、画像をプリントアウトするダイレクトプリントの統一規格で、カメラ側から簡単な操作で画像をプリントできます。

本文中のイラストおよび液晶モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。
本説明書中ではSDメモリーカードならびにSDHCメモリーカードのことをSDメモリーカードと表現しています。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

 警告　このマークの内容を守らなかった場合、人が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

 注意　このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

本体について

 警告

- カメラを分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部があり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外のACアダプターをご使用になったり、専用のACアダプターを指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、電池またはACアダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- 充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8 以外は充電しないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたときは、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の液晶が皮膚や目についたり、口に入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

充電式リチウムイオンバッテリー・D-LI8使用上の注意
発熱、発火、破裂の恐れがありますので、下記注意事項を必ずお守りください。
1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと
2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと
3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと

バッテリー充電器とACアダプタについて

⚠ 警告

- 指定された電源以外の電圧で使用しないでください。指定以外の電源・電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグをはずし、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。

⚠ 注意

- ACコードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理にまげたりしてコードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、ACコードの接続部をショートさせたり、さわったりしないでください。
- バッテリー充電器をお使いにならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器で充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8以外の電池は充電しないでください。他の電池を充電しようとすると、発熱や、充電器の故障の原因となります。

取り扱い上の注意

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワールドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影（結婚式、旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体（SDメモリーカード）などの不具合により撮影や再生、パソコン等への転送ができなかった場合、画像や音声など記録内容の保証については、ご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメラを車内に放置しないでください。
- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また、高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- このカメラは防水カメラではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- カメラの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- SDメモリーカードの取り扱いについては、「SDメモリーカード使用上の注意」（p.24）をご覧ください。

- SDメモリーカードや内蔵メモリーに記録されたデータは、カメラやパソコンなどの機能を用いて消去やフォーマットを行っても、市販の修復ソフトを使用すると再び取り出せることがあります。データの取り扱いや管理はお客様の責任において行ってください。
- 本製品に付属しているACコードD-CO2Jは、バッテリー充電器D-BC8専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。
- 破損や故障の原因になりますので、液晶モニターの表面を強く押さないでください。
- カメラを腰のポケットに入れた状態で椅子などに座ると、カメラが変形したり液晶モニターが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- 三脚使用時は、ネジの締め過ぎに十分ご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

LED安全基準について
この装置は、LEDに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1適合のデジタルスチルカメラです。

ユーザー登録のお願い
お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご協力いただきますようお願い申し上げます。
付属のCD-ROMと弊社ホームページから登録が可能です。同梱の「PC接続ガイド」（表面右下）をご参照ください。

目次

設定 167

付録 184

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作について説明しています。必ずお読みになり、撮影をはじめる前に、操作を行ってください。

2 クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。

3 機能共通操作

各ボタンの機能、メニューの設定方法など、各機能に共通する操作について説明しています。詳しい内容は、「撮影」「録音・再生」「再生・消去・画像編集」「設定」の各章をご覧ください。

4 撮影

さまざまな撮影の方法や、撮影シーンに合わせた撮影モード画面の設定方法など、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

5 録音・再生

音声だけの録音や画像に音声を追加する方法、再生のしかたを説明しています。

6 再生・消去・画像編集

カメラ・テレビでの再生の方法や消去のしかた、画像サイズの変更やトリミングの方法、直接プリンターにつないでプリントする方法などを説明しています。

7 設定

カメラに関する機能の設定方法について説明します。

8 付録

困ったときの対処のしかたや、別売品の案内をしています。

操作説明中で使用されている表記の意味は次のようになっています。

☞	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

すぐ使いこなせる！
スピードレッスン

お買い上げ後すぐ、Optio A40を使いこなすには？
準備・撮影・再生を、次のように体験してみましょう。（操作の説明は、カッコ内のページをご覧ください。）

同梱品を確認します(p.12)

カメラの準備をします

ストラップを取り付けます(p.15)
バッテリーを準備します
　充電(p.17)とセット(p.16)
メモリーカードを入れます(p.23)
初期設定をします(p.27～29)

基本操作に慣れましょう

電源をオン／オフします(p.36)
静止画を撮影します(p.30～33)
静止画を再生したり消去します(p.34～35)
撮影モードと再生モードを切り替えます(p.50)

シャッターボタンの押しかたに慣れるまで、よく練習しましょう。

ボタンひとつでキレイに撮れる。便利なモードです。

簡単撮影モードで撮影しましょう(p.56)

メニューを使いましょう
メニューを操作します(p.42～43)
静止画の記録サイズと画質を選びます(p.91～93)

シーンに合わせた撮影も画像編集も、アイコンを選ぶだけ。

モードパレットを使いましょう
モードパレットを操作します(p.47～49)

モードを選んで静止画を撮影しましょう
オートピクチャーモード(p.58)
ピクチャーモード(p.63～72)

モードごとに、使える機能が違います。p.188の一覧表をご覧ください。

便利な機能を使いましょう
セルフタイマー (p.79)
ズーム(p.84)
ストロボ(p.89)
手ぶれ補正(p.54)

静止画再生を楽しみましょう
拡大・９画像・カレンダー (p.124～131)
スライドショウ(p.132)

操作に慣れたら、ステップアップ！動画を撮ったり、写真を加工したり、お気に入りの写真をプリントしたり・・・楽しみがさらに広がります。

主な同梱品の確認

本体
Optio A40

ストラップ
O-ST20（※）

ソフトウェア（CD-ROM）
S-SW68

AVケーブル
I-AVC7（※）

USBケーブル
I-USB7（※）

充電式リチウム
イオンバッテリー
D-LI8（※）

バッテリー充電器
D-BC8（※）

ACコード
D-CO2J（※）

使用説明書
（本書）

使用説明書
（PC接続ガイド）

簡単ガイド

保証書

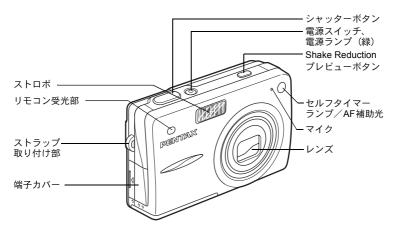
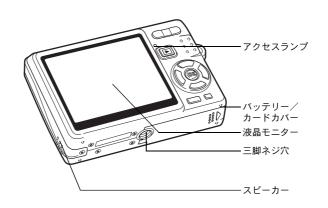
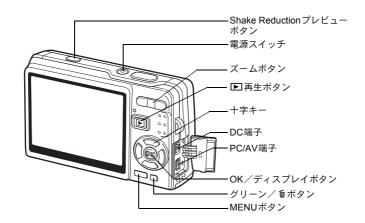
（※）の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。ただしバッテリー充電器D-BC8とACコードD-CO2Jは、「バッテリー充電器キットK-BC8J」としてのセット販売のみになります。
別売アクセサリーについて詳しくは、「別売アクセサリー一覧」（p.190）をご覧ください。

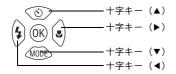
各部の名称

前面

シャッターボタン
電源スイッチ、
電源ランプ（緑）
Shake Reduction
プレビューボタン
ストロボ
リモコン受光部
セルフタイマー
ランプ／AF補助光
マイク
ストラップ
取り付け部
レンズ
端子カバー
PENTAX

背面

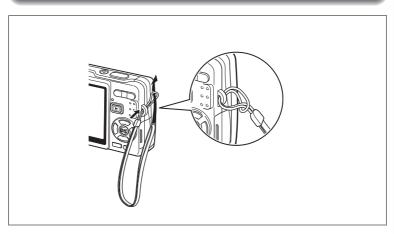
アクセスランプ
バッテリー／
カードカバー
液晶モニター
三脚ネジ穴
スピーカー

操作部の名称

十字キーについて

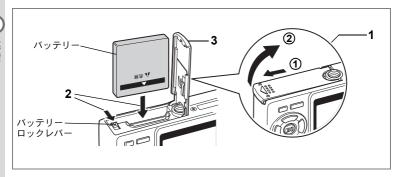
本書では、十字キーを以下のとおり表記します。

ボタン操作ガイドについて

操作中に、液晶モニター下部にボタン操作ガイドが表示されます。
各ボタンは、次のように表示されます。

十字キー（▲）	▲
十字キー（▼）	▼
十字キー（◀）	◀
十字キー（▶）	▶
MENUボタン	MENU
シャッターボタン	SHUTTER
OKボタン	OK

ズームボタン トリミング、赤目補正時	
グリーン／ボタン グリーンボタン時 消去操作時	

ストラップを取り付ける

ストラップの細いひもを、ストラップ取り付け部に通して取り付けます。

電源を準備する

バッテリーをセットする

同梱のバッテリーをセットします。

1　バッテリー／カードカバーを開ける

バッテリー／カードカバーを①の方向に引き出します。手を離すと、②の方向に自然に開きます。

2　バッテリーロックレバーを矢印の方向に押し、バッテリーの▲マークを液晶モニター側に向けながらロックされるまで挿入する

3　バッテリー／カードカバーを閉じる

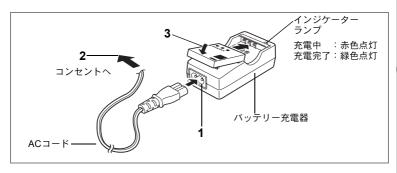
バッテリーを取り出す

1　バッテリー／カードカバーを開ける

2　バッテリーロックレバーをバッテリー挿入時と同じ方向に押す

バッテリーが少し飛び出しますので、引き抜いてください。

長時間連続して使うときは、ACアダプタキットK-AC63J（別売）をご使用ください。（p.21）

- バッテリーは正しく入れてください。間違った向きに入れると、故障の原因になります。
- 電源スイッチがオンのときは、バッテリーを取り出さないでください。
- カメラを長期間使用しない場合は、バッテリーを取り出した状態で保管してください。
- バッテリーを長時間取り出していると、日時の設定がリセットされることがあります。

バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや長時間使用しなかったとき、「電池容量がなくなりました」というメッセージが表示されたときは、バッテリーを充電してください。

1　バッテリー充電器D-BC8にACコードを接続する

2　ACコードをコンセントに差し込む

3　専用バッテリーをPENTAXロゴが見えるようにセットする

充電中はインジケーターランプが赤色に点灯します。
充電が完了すると、インジケーターランプが緑色に点灯します。

4　充電終了後、バッテリー充電器からバッテリーを取り外す

- 充電時間は、最大で約100分です。周囲の温度が0℃～40℃の範囲で充電してください。（周囲の温度や充電状態によって異なります。）
- 充電は使用する当日か前日にすることをおすすめします。
- 正しく充電しても使用できる時間が短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。

- 付属のバッテリー充電器では、専用の充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8以外のバッテリーは充電しないでください。充電器の破損や発熱の原因となります。
- バッテリーを正しい向きにセットしてもインジケーターランプが点灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換してください。
- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
またバッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微少の電流が流れて過放電になり、バッテリー寿命短縮の原因となります。

• 使用時間の目安（専用バッテリー D-LI8フル充電時）

撮影可能枚数　：約180枚（ストロボ使用率50%、液晶モニターオン、23℃）＊1
再生時間　：約200分＊2
動画撮影時間　：約70分＊2
音声記録時間　：約180分＊2

＊1 CIPA規格に準じた条件で測定した場合の撮影可能枚数です。撮影モード、撮影状況により異なります。
＊2 当社の測定条件に沿って測定した目安の時間です。使用条件により異なります。

• 使用環境温度が下がると、バッテリーの性能が低下します。寒冷地で使用する場合は、予備のバッテリーを用意して、衣服の中で保温するなどしてご使用ください。なお、低温によって低下したバッテリーの性能は、常温の環境で元に戻ります。
• 海外旅行、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影する場合は、予備バッテリーをご用意ください。

• バッテリーの残量表示

液晶モニターに表示された[バッテリー]で、バッテリーの残量を確認できます。

表示		状態
[バッテリー]	（緑点灯）	：バッテリーがまだ十分に残っています。
↓		
[バッテリー]	（緑点灯）	：わずかに減っています。
↓		
[バッテリー]	（黄点灯）	：かなり減っています。
↓		
[バッテリー]	（赤点灯）	：残量がほとんどありません。
↓		
「電池容量がなくなりました」		：メッセージ表示後、電源オフとなります。

• リサイクルについて

Li-ion

このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。ご使用済みの小型充電式電池の廃棄に際しては、端子部に絶縁テープをはって、小型充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

海外でバッテリーを充電する

同梱のバッテリー充電器は、自動で全世界の電源電圧（100-240V)、電源周波数（50Hz、60Hz）に切り換わるように設計されています。
ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、「主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ」(p.20）を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合った市販の変換プラグを準備してください。(ひとつの国の中でも地域によってコンセント形状が異なる場合がありますので、ご注意ください。)
充電の仕方は、国内と同じです。

- 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。
- ご使用にならないときは、変換プラグをコンセントから外してください。

タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

		A	B	BF	C	S
北米	アメリカ合衆国、カナダ	○				
ヨーロッパ、旧ソ連地域	アイスランド、アイルランド、イタリア、ウクライナ、オーストリア、オランダ、カザフスタン、ギリシャ、スウェーデン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベラルーシ、ベルギー、ルーマニア、ロシア				○	
	イギリス		○	○		
	スペイン	○			○	
	スイス、ポーランド、ポルトガル		○		○	
アジア	台湾	○				
	スリランカ、モルジブ		○			
	ネパール、バングラデシュ、モンゴル				○	
	ベトナム	○			○	
	インド、インドネシア、パキスタン、マカオ特別区		○		○	
	タイ	○		○	○	
	大韓民国	○	○		○	
	フィリピン	○			○	○
	シンガポール、香港特別行政区		○	○		
	中華人民共和国	○	○	○	○	○
	マレーシア		○	○	○	
オセアニア	オーストラリア、トンガ、ニュージーランド、フィジー					○
	グァム島	○				
	タヒチ				○	
中南米	コロンビア、ジャマイカ、ハイチ、パナマ、バハマ、プエルトリコ、ベネズエラ、メキシコ	○				
	ブラジル、ペルー	○			○	
	チリ		○		○	
	アルゼンチン			○	○	○
中東	イスラエル、イラン				○	
	クウェート		○		○	
	ヨルダン		○	○		
アフリカ	カナリア諸島、ギニア、モザンビーク、モロッコ				○	
	ケニア、南アフリカ共和国		○		○	
	アルジェリア	○	○	○		
	エジプト		○	○	○	
	ザンビア、タンザニア		○	○		

4 コンセントへ
ACコード
1
2 ◀マーク
ACアダプタ
3

ACアダプタを使用する（別売）

液晶モニターを長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、ACアダプタキットK-AC63J（別売）のご使用をおすすめします。

1　カメラの電源が切れていることを確認してから、端子カバーを開ける

2　AC アダプタの DC 端子を、カメラの DC 入力端子に「◀」マークを合わせて接続する

3　ACコードをACアダプタに接続する

4　コンセントに電源プラグを差し込む

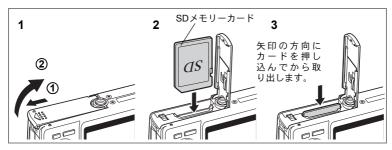
- AC アダプタを接続または外すときは、必ずカメラの電源が切れた状態で行ってください。
- 電源および接続ケーブルは、しっかりと差し込んでください。記録中にケーブルが外れると、データが破壊されることがあります。
- AC アダプタをご使用になるときは AC アダプタキット K-AC63J の使用説明書をあわせてご覧ください。
- DC端子を接続するときは、必ず「◀」マークを合わせてください。無理に差し込むと破損の恐れがあります。

1

準備

バッテリー充電器とACアダプタの使用上の注意

バッテリー充電器とACアダプタを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。
ご使用の前に、必ず「ご注意ください」（p.1）をお読みください。

SDメモリーカードをセットする

このカメラでは、SD（およびSDHC）メモリーカードが使用できます。撮影した画像は、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに記録されます。

SDメモリーカードを入れて撮影

画面右上に□が表示されます。カードに記録されます。

SDメモリーカードを入れずに撮影

画面右上に◘が表示されます。内蔵メモリーに記録されます。

- SD メモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源をオフにしてください。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする」（p.168）をご覧ください。

1　バッテリー／カードカバーを開ける

バッテリー／カードカバーを①の方向に引き出します。手を離すと、②の方向に自然に開きます。

2　SD メモリーカードのラベル（▲ 印のある）面を液晶モニター側に向け、カチッと音がするまで押し込む

3　バッテリー／カードカバーを閉じる

カードを取り出すときは、カードを矢印の方向に押し込みます。カードが少し飛び出すので、カードを引き抜いて取り出してください。

- 撮影できる画像の枚数は、SD メモリーカードまたは内蔵メモリーの容量と画像の記録サイズ、画質によって異なります。（☞p.25）
- お気に入りの画像や音声を内蔵メモリーに保存すれば、いつでも再生して楽しめます（マイアルバム機能）。（☞p.126）

データバックアップのおすすめ

内蔵メモリーに記憶したデータは、まれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータはパソコンなどを利用して、内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをおすすめします。

SDメモリーカード使用上の注意

- カードカバーを開けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側に切り替えると、新たにデータを記録、消去またはカードのフォーマットをすることが禁止され、それまで保存したデータが保護されます。

- カメラ使用直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- SDメモリーカードへのデータ記録中や、画像・音声の再生中、またはUSBケーブルでパソコンと接続中には、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データの破損やカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- 未使用または他のカメラで使用したカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。フォーマットについては「SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする」（p.168）をご覧ください。
- SD メモリーカードのフォーマット中には絶対にカードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で消去される場合がありますので、ご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
  (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
  (3) 長期間カードを使用しなかったとき
  (4) SD メモリーカードにデータ記録中、またはデータ読み出し中にカードを取り出したり、ACアダプタやバッテリーを抜いたとき
- 長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や、保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光のあたる場所での使用や保管は避けてください。
- 一部の書込み速度の遅いSDメモリーカードでは、動画撮影時にカードに空き容量があっても途中で撮影が終了したり、撮影・再生時に動作が遅くなる場合があります。
- SDメモリーカードご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページのFAQ（よくある質問とその回答）でご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
  ホームページでご確認いただくには、下記アドレスからアクセスし、製品名をクリックしてください。
  http://www.pentax.co.jp/japan/support/product_faq.html
- フォーマットしたSDメモリーカードでも、市販の修復ソフトを使用するとデータを再び取り出せることがあります。廃棄の際はSDメモリーカード本体を物理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSDメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

静止画の記録サイズと画質

画像の記録サイズと画質は、画像の用途に合わせて選びます。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどきれいな画像になりますが、画像のデータ量が増えるので、撮影できる枚数は少なくなります。なお、大きな記録サイズで高画質にした場合、撮影後の記録に十数秒かかることがあります。
画像の記録サイズと画質の設定は、「撮影」メニューで行います。

メニューの操作方法☞p.42

静止画の記録サイズを選択する☞p.91

静止画の画質を選択する☞p.93

● 選べる記録サイズと適した用途

記録サイズ	鮮明、きれい ↑	用途
12M (4000×3000)		フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集・加工など
10M (3648×2736)		
7M (3072×2304)		
5M (2592×1944)		
3M (2048×1536)		はがきサイズプリント、ホームページ掲載、電子メール添付など
1024 (1024×768)		
640 (640×480)		

初期設定では、12M（4000×3000）が選択されています。

● 選べる画質と適した用途

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、A4サイズなど大きな写真のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、写真のプリントおよびパソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

初期設定では、★★が選択されています。

● 記録サイズ／画質と撮影可能枚数の目安

画質 記録サイズ	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	音声
12M (4000×3000)	201枚	291枚	404枚	17時間 11分28秒
10M (3648×2736)	242枚	350枚	486枚	
7M (3072×2304)	342枚	495枚	685枚	
5M (2592×1944)	481枚	695枚	963枚	
3M (2048×1536)	728枚	1053枚	1458枚	
1024 (1024×768)	1856枚	2682枚	3714枚	
640 (640×480)	3405枚	4918枚	6811枚	

- 表の数値は、1GBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、撮影モード、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

動画の記録サイズと画質

動画の記録サイズと画質は、動画の用途に合わせて選びます。
記録サイズの数値や画質の★の数は、多くなるほどきめ細かい画像になりますが、画像のデータ量は大きくなります。
動画の記録サイズと画質の設定は、「撮影」メニューの「動画」で行います。

動画の記録サイズを選択する☞p.102

動画の画質を選択する☞p.103

● 選べる記録サイズと適した用途

640 (640×480)	VGAサイズで高画質な動画を楽しめます。ただし記録時間は短くなります。
320 (320×240)	画像の容量が小さくなるため、記録時間が長くなります。

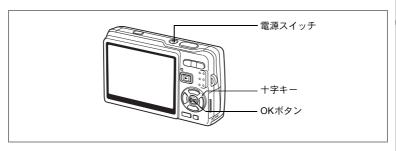
初期設定では、640（640×480）が選択されています。

● 記録サイズ／画質と撮影可能時間の目安

画質 記録サイズ	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー
640 (640×480)	46分0秒	57分38秒	69分11秒
320 (320×240)	177分56秒	221分3秒	254分52秒

初期設定では、★★★が選択されています。

- 表の数値は、1GBのSDメモリーカードを使用した場合の枚数です。
- この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

初期設定をする（表示言語と日時の設定）

カメラの電源を入れたときに、「Initial Setting」や「日時設定」画面が表示されたら、次の手順に従って初期設定をしてください。

［Initial Setting（初期設定）の画面が表示された場合］
☞p.27～28「言語を設定する」「日時を設定する」
［日時設定の画面が表示された場合］
☞p.28「日時を設定する」

初期設定をやりなおしたい場合は、「日時を変更する」（p.172）、「表示言語を変更する」（p.176）をご覧ください。

言語を設定する

使用する言語を日本語に設定します。

1　十字キー（▶）を押す

Language／言語 画面が表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で「日本語」を選ぶ

Initial Setting
Language/言語　English ▶
Hometown　0:00
New York　DST OFF
Video Out　NTSC
MENU Cancel　OK OK

3 OKボタンを押す

「日本語」を選ぶと「現在地」、「ビデオ出力」が右図のように表示されます。

初期設定
Language/言語　日本語
現在地　0:00
東京
ビデオ出力　NTSC
MENU 取消　OK 決定

4 OKボタンを押す

日時を設定する画面が表示されます。

日時を設定する

日付の表示スタイルと現在の日付、時刻を設定します。

1 十字キー（▶）を押す

選択枠が「年／月／日」に移動します。

2 十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

3 十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

4 十字キー（▲▼）を押して、「24h」（24時間表示）または「12h」（12時間表示）を設定する

5 十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

6 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

7 十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

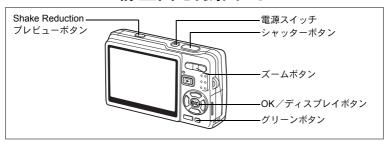
8　十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM/PMが切り替わります。

- 日時の設定終了後、OKボタンを押すと、0秒にセットされます。
- 時報に合わせてOKボタンを押すと、秒単位まで正確な日時設定が行えます。

- 初期設定中にMENUボタンを押すと、設定した内容がキャンセルされます。そのまま撮影できますが、次回カメラの電源を入れたとき、また初期設定画面がでます。
- 初期設定の内容は、あとからメニューを使って変更できます。
  「言語」:「表示言語を変更する」（p.176）
  「都市」「夏時間」:「ワールドタイムを設定する」（p.174）
  「日時」:「日時を変更する」（p.172）
- 初期設定で選んだ言語によって、次のように「ビデオ出力」方式が自動設定されます。ご使用の地域の方式と異なるときは、「ビデオ出力方式を選択する」（p.179）の手順で変更してください。

言語	ビデオ出力
英語（English）	NTSC
フランス語（Français）	PAL
ドイツ語（Deutsch）	PAL
スペイン語（Español）	PAL
ポルトガル語（Português）	PAL
イタリア語（Italiano）	PAL
オランダ語（Nederlands）	PAL
デンマーク語（Dansk）	PAL
スウェーデン語（Svenska）	PAL
フィンランド語（Finnish）	PAL
ポーランド語（Polish）	PAL
チェコ語（Czech）	PAL
ハンガリー語（Hungarian）	PAL
トルコ語（ Türkçe ）	PAL
ロシア語（Русский）	PAL
タイ語（ไทย）	PAL
韓国語（한국어）	NTSC
中国語・繁体字（中文繁體）	PAL
中国語・簡体字（中文简体）	PAL
日本語	NTSC

静止画を撮影する

最も簡単な静止画の撮影方法です。ストロボは明るさに応じて自動的に発光します。

1　電源スイッチを押す

電源がオンになります。

2　液晶モニターで、構図を決める

フォーカスフレーム

カメラは、フォーカスフレーム内でピント合わせをします。
ズームボタンを押せば、被写体の大きさが変わります。
ズームボタン（♦）：被写体が大きく写る。
ズームボタン（♦♦♦）：被写体が小さく写る。
顔認識機能がオンの場合、顔認識すれば、顔の位置に黄色いフォーカスフレームが表示されます。被写体の動きを追尾して、フォーカスフレームの位置と大きさが変化します。

3　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。
Shake Reduction 機能がオンになっていれば、画面に(Shake Reduction オン）アイコンが表示されます。が表示されてから手順４に進むと、手ぶれを補正して撮影できます。

4　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。
撮影した画像が、液晶モニターに0.5秒間表示されます（クイックビュー）。画像は、SDメモリーカードか内蔵メモリーに保存されます。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは、二段階に分けて静かに押します。
こうすると、手ぶれを防ぎ、ピントをしっかり合わせて撮影できます。

基本の押しかた

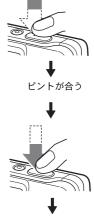
1　シャッターボタンを半押しする

シャッターボタンを軽く押し、途中で止まる部分で指を止めます。（半押し）

2　液晶モニターのフォーカスフレームが緑色になるのを、確認する

半押しのまま、緑色に変わるのを待ちます。ピントが合う位置が固定されます。

3　シャッターボタンを全押しする

半押しの状態から、シャッターがきれるまで静かに押し下げます。

フォーカスモードが標準（オートフォーカス）で、撮影メニューの一気押しPFがオンのときは、シャッターボタンを一気に押し込んで撮影することもできます。（☞p.109）
この場合、画面全体にピントがあった写真になります。一瞬のシャッターチャンスを逃したくないときに、便利です。

フォーカスロック

自動でピント合わせがむずかしいときは、次のように撮影します。

次のようなものには、ピントが合いにくいことがあります。
- 極端にコントラストが低いもの（青空や白壁）
- 光が反射しにくいもの（暗い場所や真っ黒なもの）
- 強い反射光、極端な逆光
- 細かい模様
- 高速で動いているもの
- カメラから遠いものと近いものが、同時に画面に存在しているとき

1　ピントを合わせたいものと同じ距離にある、他の被写体を探す

2　その被写体にピントを合わせる

フォーカスフレーム内に、その被写体が入るようにします。

3　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色に変わります。

4　半押しのままカメラの向きを変え、撮りたい構図にする

構図を変えても、手順3の位置にピントは固定されたまま（フォーカスロック）です。

5　シャッターボタンを全押しする

クイックビュー

初期設定では、撮影直後に0.5秒間画像が表示されます（クイックビュー）。表示させる時間は、好みに合わせて変えることができます。(☞ p.106)
時間を長めに設定して、クイックビュー表示中の画像を消去することもできます。

1　クイックビュー表示中に、グリーン／🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。

2　十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押す

表示中の画像が消去されます。

液晶モニターを見やすくする

液晶モニターを、一時的に明るく見やすくすることができます（LCDブースター機能）。撮影時、屋外などの明るい場所で、液晶モニターが見にくいときに便利です。

1　撮影モードで、OK／ディスプレイボタンを1秒以上押す

液晶モニターが、一定の時間最も明るい状態になります。

次の操作で、LCDブースター機能をすぐに解除することができます。
- ディスプレイモードをバックライトオフにする。(☞ p.51)
- カメラの電源をオフにする。

静止画を再生する

画像を再生する

静止画を再生します。

1 撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。
OK／ディスプレイボタンを1秒以上押すと、LCDブースター機能が働きます。液晶モニターが、一定時間明るくなります。

拡大して再生する☞p.124

前後の画像を再生する

静止画を前後に1枚ずつ送って再生します。

1 撮影後に▶再生ボタンを押す

撮影した画像が液晶モニターに表示されます。

2 十字キー（◀▶）を押す

十字キー（◀）：前の画像を表示。
十字キー（▶）：次の画像を表示。

表示した画像を消去するには

1 画像再生中に、グリーン／🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。

2 十字キー（▲）を押して「消去」を選び、OKボタンを押す

再生中の画像が消去されます。

ファイルNo.
100-0010
消去
キャンセル
全画像/音声　OK 決定

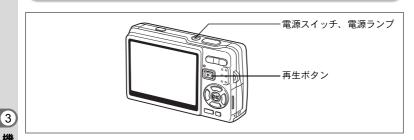
3 ▶再生ボタンを、もう一度押す

撮影できる状態になります。
シャッターボタンを半押ししても、撮影できる状態に戻ります。

- 再生モードに切り替えると、最後に撮影した画像が最初に表示されます。
- 液晶モニターに表示された画像は、ズームボタンで拡大して見ることができます。（回転表示中の画像を拡大すると、一時的に回転表示が解除されます。拡大をやめると、元の回転表示に戻ります。）
- 画像が保存されていないときは、「画像／音声がありません」と表示されます。

拡大して再生する☞p.124

画像・動画・音声を消去する☞p.134

電源をオン／オフする

「撮影モード」でカメラを起動する

1 電源スイッチを押す

電源ランプが緑色に点灯し、レンズが繰り出して「撮影モード」で起動します。シャッターボタンを押せば、すぐ撮影できます。
▶再生ボタンで、次のように切り替えることもできます

▶再生ボタンを押す	**：**	**レンズが収納されずに、「再生モード」になる。**
▶再生ボタンを2秒間押す	**：**	**レンズが収納されて、「再生モード」になる。**
▶再生ボタンを4秒以上押す	**：**	**SDメモリーカードを入れたまま、内蔵メモリーの内容が表示される。**

2 もう一度、電源スイッチを押す

レンズが収納されて、電源がオフになります。

電源スイッチを長く押し続けると、電源がオンからオフに戻ることがあります。

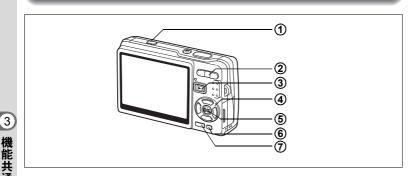
撮影モードと再生モードを切り替える☞p.50

「再生モード」でカメラを起動する

1　▶再生ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

電源ランプが緑色に点灯し、レンズは収納されたまま、「再生モード」で起動します。
もう一度▶再生ボタンを押して、「撮影モード」に切り替えることもできます。

静止画を再生する☞p.34

ボタンの機能を使用する

撮影モード時

① **Shake Reductionプレビューボタン**
押している間、液晶モニターに手ぶれ補正された画像が表示されます。補正効果を確認してから、撮影することができます。(☞p.54)

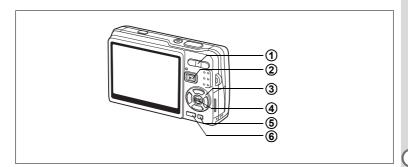
② **♠♠♠/♠ ズームボタン**
被写体の大きさを変えます。(☞p.30、p.84)

③ **▶再生ボタン**
再生モードに切り替えます。もう一度押すと、撮影モードに戻ります。(☞p.34)

④ **十字キー(▲▼◀▶)**
(✿▶)　フォーカスモードを切り替えます。(☞p.86)
(⏲▲)　ドライブモードを切り替えます。(☞p.79～p.83)
(**MODE**▼)　撮影モードパレットを表示します。(☞p.47)
(⚡◀)　ストロボの発光方法を切り替えます。(☞p.89)

⑤ **OK/ディスプレイボタン**
液晶モニターに表示される情報を切り替えます。(☞p.50)
1秒以上押すと、LCDブースター機能が働いて、液晶モニターが一定時間明るくなります。(☞p.33)

⑥ **グリーン/🗑ボタン**
グリーンモードに切り替えます。(☞p.56)
「📷撮影」メニューの「グリーンボタン」で他の機能を割り当てることもできます。(☞p.110)

⑦ **MENUボタン**
「📷撮影」メニューを表示します。(☞p.42)

再生モード時

① **♣♣♣/♣ ズームボタン**
1画面表示時に♣♣♣/▦を押すと、9画像表示になります。♣/🔍を押すと、前の表示に戻ります。（☞p.130）
1画面表示時に♣/🔍を押すと、画像が拡大表示されます。♣♣♣/▦を押すと前の表示に戻ります。（☞p.124）
9画像表示時に♣♣♣/▦を押すと、カレンダー表示に切り替わります。（p.131）

② **▶再生ボタン**
撮影モードに切り替えます。ボイスレコーディングモード時に▶再生ボタンを押して再生モードに入り、もう1度▶再生ボタンを押した場合、ボイスレコーディングモードに切り替わります。

③ **十字キー（▲▼◀▶）**
静止画再生時
（◀▶）　1画面表示時は、前後の画像を表示します。（☞p.34）
回転表示時は、（▶）を押すごとに時計回りに90度回転、（◀）を押すごとに反時計回りに90度回転します。（☞p.152）
（▼）　再生モードパレットを表示します。（☞p.49）
（▲▼◀▶）拡大表示時は、表示範囲を移動します。（☞p.124）
9画像表示時には、画像を選択します。（☞p.130）
カレンダー表示時には、日付を選択します。（p.131）

動画再生時
（▲）　動画・音声を再生／一時停止します。（☞p.127）
（◀▶）　動画再生中は、コマ送り、コマ戻し、早送り、巻き戻しをします。（☞p.127）
（▼）　動画・音声の再生を停止します。（☞p.127）

ボイスレコーディング再生時（☞p.121）

（▲）　再生を開始します。もう一度押すと、再生を一時停止します。

（◀▶）　再生の前に、再生したい音声ファイルを選びます。再生中には、下記の動作をします。

インデックスがない場合
（◀）約5秒戻る。
（▶）約5秒進む。
インデックスがある場合
（◀）前のインデックス位置から再生。
（▶）次のインデックス位置から再生。

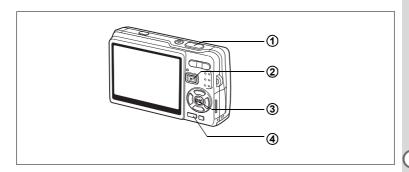
④ OK／ディスプレイボタン

液晶モニターに表示される情報を切り替えます。（☞p.128）
1秒以上押すと、LCDブースター機能が働いて、液晶モニターが一定時間明るくなります。（☞p.34）
9画像表示時は、1画面表示に戻ります。（☞p.130）
カレンダー表示時には、選択した画像を1画面表示します。（p.131）

⑤ グリーン／🗑ボタン

再生中の画像を消去します。（☞p.134）

⑥ MENUボタン

「🔧設定」メニューを表示します。（☞p.42）

ボイスレコーディングモード時

① **シャッターボタン**
ボタンを押すと録音を開始し、もう一度押すと録音を停止します。
1秒以上押し続けると、押している間だけ録音し、ボタンを離すと録音を停止します。

② **▶再生ボタン**
再生モードに切り替えます。(☞p.37) もう一度押すとボイスレコーディングモードに戻ります。

③ **OK／ディスプレイボタン**
液晶モニターをオン／オフします。

④ **MENUボタン**
録音中に押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。
録音待機中、あるいは録音再生前に押すと「📷撮影」メニューを表示します。(☞p.42)

メニューを操作する

MENUボタンを押すと、液晶モニターにメニューが表示されます。
メニューには「📷撮影」メニューと「🔧設定」メニューがあります。

メニューの操作方法

メニュー操作中は、ボタン操作ガイドが液晶モニター下部に表示されます。あわせてご覧ください。

1　MENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。(再生モードでMENUボタンを押した場合は、「🔧設定」メニューを表示)
選択されている部分はハイライトで表示されます。

2　十字キー（◀▶）を押す

押すたびに、「📷撮影」メニューと「🔧設定」メニューが切り替わります。

3　十字キー（▲▼）で項目を選択する

ハイライトが上下に移動します。

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューまたは設定画面が表示されます。
ポップアップには、現在のカメラの条件で選べる設定が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で設定を切り替える

十字キー（▲▼）を押すたびに、設定が切り替わります。

設定を保存して、撮影をしたいとき

6　シャッターボタンを半押しする

設定が保存されて、「撮影モード」になります。
全押しすると、写真が撮影されます。

設定を保存して、再生をしたいとき

6　▶再生ボタンを押す

設定が保存されて、「再生モード」になります。

3 機能共通操作

設定を保存して、メニュー操作を続けたいとき

6 OKボタンまたは十字キー（◀）を押す

設定が保存され、手順3に戻ります。

変更を取り消して、メニュー操作を続けたいとき

6 MENUボタンを押す

変更が取り消され、手順3に戻ります。

MENUボタンの機能は、画面によって異なります。画面下に表示されるボタン操作ガイドをご覧ください。

MENU 終了 ：現在の設定を保存してメニュー操作を終了し、元の画面（撮影モード、または再生モード)に戻る。

MENU ↩ ：現在の設定を保存して、手順1の画面に戻る。

MENU 取消 ：現在の選択を保存しないでメニュー操作を終了し、手順3の画面に戻る。

- ポップアップが表示されている状態でMENUボタンを押すと、設定がキャンセルされます。
- ポップアップが表示されている状態でOKボタン、MENUボタン、十字キー（◀）を押すと、項目選択画面に戻ります。
- メニュー画面を表示させてから1分間何も操作しないと、メニュー画面が終了します。

操作の例

1 MENUボタン

2

「撮影」メニュー

「設定」メニュー

設定
フォーマット
サウンド
日時設定
ワールドタイム
Language/言語 日本語
フォルダ名 標準
MENU 終了

3

3

4

撮影
記録サイズ 12M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 AUTO 800
MENU 終了

撮影
記録サイズ 12M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度
MENU 取消 OK 決定

3

4’

選択画面

3

次のメニュー画面へ

メニュー一覧

「撮影」メニュー

項目		内容	参照
記録サイズ		画像の画素数が選べます。	p.91
画質		画像の圧縮率が選べます。	p.93
ホワイトバランス		撮影時の光の状態に合わせて色を調整します。	p.94
AF	AFエリア	オートフォーカスの対象となる範囲を変更します。	p.96
AF	フォーカスリミット	レンズの移動範囲を状況に応じて制限します。	p.97
AF	AF補助光	被写体が暗く、オートフォーカスが正確に作動しない環境でピントを合わせやすくします。	p.97
測光方式		露出を決定する測光方式を設定します。	p.98
感度		感度を設定します。	p.99
露出補正		－2.0EV～＋2.0EVの間で露出を補正します。	p.101
動画	記録サイズ	動画の画素数が選べます。	p.102
動画	画質	動画の画質が選べます。	p.103
動画	Movie SR	動画の手ぶれを自動的に補正します。	p.104
Shake Reduction		静止画撮影時の手ぶれを補正します。	p.105
デジタルズーム		デジタルズーム撮影ができます。	p.84
クイックビュー		クイックビューの表示時間を設定します。	p.106
顔認識		顔認識が切り替えられます。	p.107
D-レンジ補正		画面全体の露出を保ったまま、暗い部分を明るくします。	p.108
一気押しPF		シャッターを一気押しして、撮影する際のタイムラグを短くします。	p.109
モードメモリ		電源オフ時に撮影機能の設定値をメモリします。	p.117
グリーンボタン		グリーンボタンに機能を登録します。	p.110
シャープネス		シャープネスを設定します。	p.113
彩度		彩度を設定します。	p.114
コントラスト		コントラストを設定します。	p.115
日付写し込み		静止画に日付を埋め込みます。	p.116

「設定」メニュー

項目	内容	参照
フォーマット	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーを初期化します。	p.168
サウンド	操作音量、再生音量、起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音を設定します。	p.169
日時設定	日付・時刻、表示スタイルを設定します。	p.172
ワールドタイム	ワールドタイムを設定します。	p.174
Language／言語	メニューやメッセージを表示する言語を切り替えます。	p.176
フォルダ名	画像や音声を保存するフォルダ名の付けかたを設定します。	p.177
USB接続	USB接続モードを変更します。	p.178
ビデオ出力	ビデオ出力方式を設定します。	p.179
LCDの明るさ	液晶モニターの明るさを設定します。	p.180
エコモード	節電機能を設定します。	p.181
クイック拡大	ズームボタンを一度操作するだけで、画面を指定倍率に拡大できるように設定します。	p.125
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるようにします。	p.182
ガイド表示	オンに設定すると、撮影モード画面上で現在選択されているモード、十字キーの状態、グリーンボタンの内容を表示します。またモードパレット上では、選んでいるアイコンの説明を表示します。	p.182
リセット	設定を初期値に戻します。	p.183

モードパレットを操作する

十字キー（▼）を押すと、液晶モニターにモードパレットが表示されます。モードパレットには「撮影モードパレット」と「再生モードパレット」があります。
アイコンを選ぶだけで、シーンに合った撮影モードに切り替えたり、撮った画像の編集ができます。

モードパレットの操作方法

モードパレット操作中は、ボタン操作ガイドが液晶モニター下部に表示されます。あわせてご覧ください。

1　十字キー（▼）を押す

撮影モードでは「撮影モードパレット」、再生モードでは「再生モードパレット」が表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で使用したいモードを選ぶ

3　OKボタンを押す

各モードの画面が表示されます。

モードパレット一覧

撮影モードパレット

アイコン	項目	内容	参照
AUTO PICT	オートピクチャーモード	撮影モードの選択をカメラにまかせて撮影します。	p.58
P	プログラムモード	シャッター速度と絞り値をカメラにまかせて撮影します。	p.60
Tv	シャッター優先モード	シャッター速度を手動で設定し、絞り値をカメラにまかせて撮影します。	

アイコン	項目		内容	参照
M	マニュアルモード		絞りとシャッター速度を手動で設定して撮影します。	p.60
	夜景モード		夜景など暗いシーンを撮影します。	p.73
	動画モード		動画を撮影します。	p.75
	ボイスレコーディングモード		音声を記録します。	p.119
	ピクチャーモード	風景	風景写真をきれいに仕上げます。	p.63
		花	花の写真をきれいに仕上げます。	
		美肌	人物の肌の色をなめらかにします。	p.65
		ポートレート	人物写真をきれいに仕上げます。	
		ベストフレーミング	人物写真を一定の画角で撮影します。	
		キッズ	動きの多い子供の写真をきれいに仕上げます。	
		サーフ＆スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。	p.63
		スポーツ	シャッター速度を速くして、被写体のぶれを軽減します。	
		ペット	ペットの毛色を活かして写真をきれいに仕上げます。	p.71
		テキスト	文字をくっきりときれいに撮影します。また、お好みで白黒や反転に仕上げます。	p.72
		料理	テーブル上を見たままに鮮やかに仕上げます。	p.63
	Digital SRモード		より高い感度で、ぶれを軽減して撮影します。	p.74
	フレーム合成モード		フレーム（飾り枠）付きの画像を撮影します。	p.77

- アイコンを選んだ状態で約3秒たつと、そのモードの説明が表示されます。
- / / と P/Tv/M と / は、選択アイコンを選んで切り替えます。モードパレットには、現在選ばれているモードのアイコンが表示されます。他のモードに切り替えると、モードパレットのアイコン表示も変わります。

再生モードパレット

アイコン	項目	内容	参照
	スライドショウ	保存された画像を連続で再生します。	p.132
	リサイズ	画像のサイズと画質を変更します。	p.149
	トリミング	画像の一部をトリミングして、別の画像として保存します。	p.151
	画像／音声コピー	画像・音声を内蔵メモリーからSDメモリーカードへ、またはSDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。	p.165
	画像回転	静止画を回転して表示させます。	p.152
	カラーフィルタ	静止画にカラーフィルタ処理を行います。	p.153
	デジタルフィルタ	イラスト加工やスリム加工など、静止画を好みに合わせて加工します。	p.155
	明るさフィルタ	静止画の明るさをフィルタで調節します。	p.157
	動画編集	動画の編集をします。	p.158
	赤目補正	ストロボ撮影による赤目を補正します。	p.161
	ボイスメモ	画像にボイスメモを付けます。	p.122
	プロテクト	画像・音声を誤って消去しないようにプロテクトします。	p.138
DPOF	DPOF	DPOF対応プリンターやラボプリントサービスでプリントするための設定をします。	p.142
OPTIO	起動画面設定	起動画面を設定します。	p.167
	フレーム合成	撮影した静止画に飾り枠を合成します。	p.163

アイコンを選んだ状態で約3秒たつと、そのモードの説明が表示されます。

撮影する

モードを切り替える

撮影ができる状態を「撮影モード」、再生や消去ができる状態を「再生モード」といいます。

撮影モードと再生モードを切り替える

「撮影モード」から「再生モード」へ
▶再生ボタンを押すと、切り替わります。
「再生モード」から「撮影モード」へ
▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しすると切り替わります。

撮影モードを選ぶ

「撮影モードパレット」を表示させて、使用したい撮影モードのアイコンを選びます。（☞p.47）

撮影情報を表示する

撮影モードのときOK／ディスプレイボタンを押すと、「ディスプレイモード」が切り替わります。
「ディスプレイモード」には、次の5種類があります。

通常表示
電源をオンしたときの状態です。撮影情報を表示します。

1 撮影モード	2 D-レンジ補正オン
3 ストロボモード	4 ドライブモード
5 フォーカスモード	6 フォーカスフレーム
7 デジタルズーム	8 カード／内蔵メモリー
9 バッテリー残量表示	10 撮影可能残量
11 日時	12 ワールドタイム設定
13 日付写し込み	14 Shake Reductionオン※
15 絞り値	16 シャッター速度
17 顔認識オン	

※ ここには、手ぶれ補正の情報が表示されます。
(Shake Reduction オン)：Shake Reduction機能がオンのとき、シャッターボタンを半押しすると表示される。

(Shake Reduction オフ)：Shake Reduction機能がオフのとき、常に表示される。
(手ぶれ警告)　：シャッター速度が遅いため、手ぶれが起きやすいときに表示される。

ヒストグラム表示

明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

1 記録サイズ　**2** 画質
3 ホワイトバランス　**4** 測光方式
5 感度　**6** ヒストグラム

グリッド表示

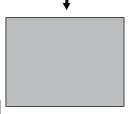
縦横3分割の位置にグリッドを表示します。撮影時に使用すると、構図が決めやすくなります。

情報表示なし

撮影情報を表示しません。

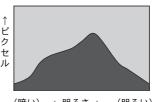
- オートフォーカス時には、フォーカスフレームが表示されます。
- 設定を変更したときは、数秒間、設定内容を表示します。

バックライトオフ

液晶モニターがオフになります。

液晶モニターの表示モードを保存する☞p.117

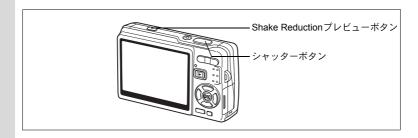
- OK／ディスプレイボタンを1秒以上押すと、LCDブースター機能が働いて、液晶モニターが一定時間明るくなります。（☞p.33）
- 手ぶれしやすい条件のとき、⚠✋（手ぶれ警告）が表示されます。Shake Reduction機能を使用するか、カメラを三脚などに固定して撮影してください。（☞p.54）
- バックライトがオフのときにも、すべてのボタンは通常通り使用できます。シャッターボタンを押せば、通常通り撮影できます。

ヒストグラムについて

ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさのピクセル数を積み上げたグラフ（明るさの分布図）です。ヒストグラムを参照することで、撮影した画像がどの程度の明るさになっているか、おおよその傾向をつかむことができます。例えば、グラフの山が左側に偏っているほど暗い画像になり、右側に偏っていれば明るい画像になります。

一般的に明暗差のバランスがとれた画像の場合、中央部になだらかな山のピークができていることが多くなります。逆に明暗差が極端で、明るい部分と暗い部分のみで構成され、中間的な明るさの部分が少ない画像の場合、左右に山のピークができ、中央部分がくぼんだグラフになります。

暗い画像

普通の明るさの画像

明るい画像

手ぶれを補正して撮影する

撮影時に手が揺れて起こる「手ぶれ」と、被写体が動いて起こる「被写体ぶれ」。このカメラではその両方を補正して、静止画と動画をきれいに撮影することができます。

Shake Reduction（静止画手ぶれ補正）機能
CCDシフト方式Shake Reduction機構*が働きます。
カメラがぶれの方向を検知して自動調整するので、効果的に手ぶれを防ぎます。液晶モニターで、補正効果を確認してから撮影することもできます。

* PENTAX独自の手ぶれ補正機構です。

Digital SRモード
ISO3200相当の高感度で撮影可能なモードです。暗い場所でも速いシャッター速度で撮れるので、「被写体ぶれ」と「手ぶれ」の両方を抑えて撮影できます。

「手ぶれと被写体ぶれを軽減して撮影する（Digital SRモード）」☞p.74

Movie SR（動画手ぶれ補正）機能
電子式の動画手ぶれ補正機能です。なめらかで美しい動画を、手ぶれを気にせず撮ることができます。

「動画の手ぶれを補正する（Movie SR）」☞p.104

「撮影」メニューの「Shake Reduction」を「☑（オン）」にすれば、常に手ぶれ補正して撮影できます。（初期設定はオンです。）
補正効果を確認してから撮りたいときは、次の手順で撮影します。

1 Shake Reductionプレビューボタンを押す

押し続けている間、液晶モニターに手ぶれ補正された画像が表示されます。

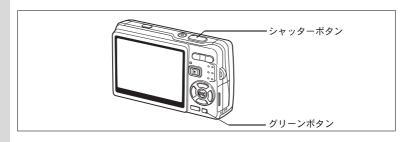
2 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

必要なとき以外は、Shake Reductionプレビューボタンを押さないでください。撮影モードのとき以外でもShake Reduction機能が作動して、電力を消費します。

Shake Reductionプレビューボタンを使わず、基本の撮りかたをしても、手ぶれ補正して撮影できます。シャッターボタンを半押しした後、画面にが表示されてから、全押ししてください。この撮りかたでは、撮影前に補正された画像を確認できません。

「静止画のShake Reduction（手ぶれ補正）機能をオンにする」
☞p.105

4
撮影

簡単撮影モードで撮影する（グリーンモード）

グリーンボタンを押すだけで、いつでも手軽に撮影を楽しめます。
また、顔認識AFと顔認識AEが働きますので、人物に正面からカメラを向けるだけで自動的に顔の位置を見つけだし、ピントを合わせ（顔認識AF）、露出調整して（顔認識AE）撮影できます。

1 撮影モードでグリーンボタンを押す

グリーンモードに入ります。
もう1回グリーンボタンを押すと、グリーンモードに入る前の撮影モードに戻ります。

2 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

3 シャッターボタンを全押しする

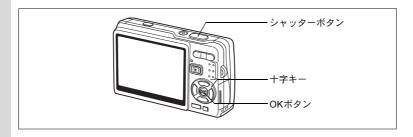
撮影されます。

- グリーンモードでは、OK／ディスプレイボタンを押して液晶モニターの情報表示を切り替えることはできません。
- グリーンモードでは、「撮影」メニューや撮影モードパレットを表示できません。表示させようとすると、（キーロック表示）と「この機能を使用するには、グリーンモードを解除してください。」というメッセージが表示されます。
- グリーンモードから再生モードに切り替えると、MENUボタンを押しても、「設定」メニューは表示されません。表示させようとすると、（キーロック表示）と「この機能を使用するには、グリーンモードを解除してください。」というメッセージが表示されます。
- グリーンモードにしたまま電源をオフにすると、次回もグリーンモードで起動します。

「撮影」メニューの「グリーンボタン」で、グリーンボタンに他の機能を割り当てることもできます。(p.110)

グリーンモードは、次のように設定されています。

ストロボモード	初期値は（オート）。（発光禁止）も選択可能。
ドライブモード	初期値は（標準）。（セルフタイマー）も選択可能。
フォーカスモード	初期値はAF（標準）。（マクロモード）、PF（パンフォーカス）も選択可能。
記録サイズ	12M
画質	★★（ファイン）
ホワイトバランス	AWB（オート）
AFエリア	[ ]（マルチ）
フォーカスリミット	☑（オン）
AF補助光	☑（オン）
測光方式	（分割測光）
感度	AUTO
露出補正	±0.0
デジタルズーム	☑（オン）
クイックビュー	0.5秒
顔認識	☑（オン）
D-レンジ補正	□（オフ）
一気押しPF	☑（オン）
シャープネス	（標準）
彩度	（標準）
コントラスト	（標準）
日付写し込み	□（オフ）

4 撮影

カメラまかせで撮影する（オートピクチャーモード）

AUTO PICT（オートピクチャーモード）では、シャッターを押すだけで、☺（標準モード）、（夜景モード）、（風景モード）、（ポートレートモード）のうち最適なモードで撮影することができます。
また、顔認識AFと顔認識AEが働きますので、人物に正面からカメラを向けるだけで自動的に顔の位置を見つけだし、ピントを合わせ（顔認識AF）、露出調整して（顔認識AE）撮影できます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、AUTO PICT（オートピクチャーモード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　シャッターボタンを半押しする

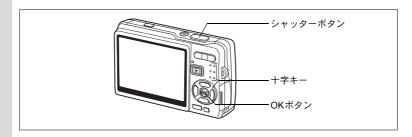
ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わり、自動選択された撮影モードが液晶モニター左上に表示されます。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

静止画を撮影する☞p.30

4
撮影

- オートピクチャーモードでは、露出補正は±0.0に固定されます。（☞p.101）
- オートピクチャーモードを選び、ポートレートモードになると、顔認識AFと顔認識AEが働きます。人物に正面からカメラを向けるだけで自動的に顔の位置を認識し、ピントを合わせ、露出調整して撮影します。（☞p.65）

露出モードや機能を設定して撮影する

P（プログラムモード）、Tv（シャッター優先モード）、M（マニュアルモード）では、シャッター速度と絞り値の設定方法（露出モード）を変えて、静止画を撮影します。

P	プログラム	シャッター速度と絞り値が自動的に設定されます。
Tv	シャッター優先	シャッター速度を手動で設定します。絞り値は自動設定されます。
M	マニュアル	絞りとシャッター速度を手動で設定して撮影します。

● **絞りとシャッター速度について**

シャッター速度と絞りの組み合わせを変えると、画像の印象を変えることができます。

シャッター速度を遅くする	シャッターを開けている時間を長くします。 動く被写体を撮影すると、シャッターを開けている間その動きが記録されるので、躍動感のある写真になります。
シャッター速度を速くする	シャッターを開けている時間を短くします。 動いている被写体の一瞬の動きをとらえて、撮影することができます。
絞り値を小さくする	レンズを通る光の量を少なくします。
絞り値を大きくする	レンズを通る光の量を多くします。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、P（プログラムモード）を選ぶ

前回にP（プログラムモード）以外を選んでいれば、撮影モードパレットにはそのアイコンが表示されています。

4
撮影

3　OKボタンを押す

選択アイコンが表示されます。

プログラムモードを選ぶ場合

4　十字キー（▲▼）で P（プログラムモード）を選び、OKボタンを押す

P（プログラムモード）で撮影できる状態になります。
必要に応じて、その他の機能を設定してください。

「撮影のための機能を設定する」☞p.86～p.115

シャッター優先モードを選ぶ場合

4　十字キー（▲▼）で Tv（シャッター優先モード）を選び、OKボタンを押す

5　十字キー（▼）を押す

シャッター速度の設定画面が表示されます。

6　十字キー（◀▶）で、シャッター速度を切り替える

選んだシャッター速度にあわせて、絞りが自動設定されます。
自動で調整できないときは、画面の下中央に露出警告が表示されます。
これを目安に、露出を調整してください。
◸のとき：シャッター速度を速くする。
◿のとき：シャッター速度を遅くする。

露出補正（p.101）を併用すると、画面の下中央に露出補正値が表示され、その上に露出警告が表示されます。

4
撮影

7 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。
必要に応じて、その他の機能を設定してください。

「撮影のための機能を設定する」☞p.86～p.115

マニュアルモードを選ぶ場合

4 十字キー（▲▼）で M（マニュアルモード）を選び、OKボタンを押す

5 十字キー（▼）を押す

シャッター速度と絞り値の設定画面が表示されます。

絞り値　シャッター速度

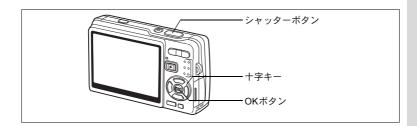
6 十字キー（◀▶）でシャッター速度を、十字キー（▲）で絞り値を切り替える

シャッター速度と絞りの組み合わせによっては、画面の下中央に露出警告が表示されます。調整の目安にしてください。

7 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。
必要に応じて、その他の機能を設定してください。

「撮影のための機能を設定する」☞p.86～p.115

- モードパレットには、現在選ばれている露出モードのアイコンが表示されます。露出モードを切り替えると、モードパレットのアイコン表示も変わります。
- シャッター速度や絞り値の設定画面で十字キー（▼）を押すと、撮影モードパレットを表示することができます。
- Tv（シャッター優先モード）では、感度はAUTO800に固定されます。
- Tv（シャッター優先モード）、M（マニュアルモード）の露出警告は、次のように表示されます。
  - 露出が不適正（2段階を超えるズレ）なら、◸または◿アイコンを表示
  - 露出が不適正（2段階以内のズレ）なら、◸または◿アイコンと数値を表示
  - 露出が適正なら、警告表示なし

シーンに合わせた撮影をする（ピクチャーモード）

撮りたいシーンに合わせた設定で撮影します。ピクチャーモードには、次の11のモードがあります。

	風景	風景写真をきれいに仕上げます。
	花	花の写真をきれいに仕上げます。
	美肌	人物の肌の色をなめらかにします。
	ポートレート	人物写真をきれいに仕上げます。
	ベストフレーミング	人物写真を一定の画角で撮影します。
	キッズ	動きの多い子供の写真をきれいに仕上げます。
	スポーツ	シャッター速度を速くして、被写体のぶれを軽減します。
	サーフ&スノー	砂浜や雪山などの背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。
	ペット	ペットの毛色を活かして写真をきれいに仕上げます。
	テキスト	文字をくっきりときれいに撮影します。また、お好みで白黒や反転に仕上げます。
	料理	テーブル上を見たままに鮮やかに仕上げます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、使用したいピクチャーモードを選ぶ

例として🏔（風景モード）を選択します。

ピクチャーモード

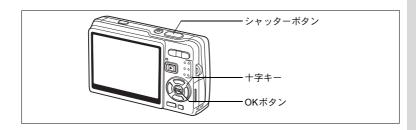
3 OKボタンを押す

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

ピクチャーモードでは、彩度、コントラスト、シャープネス、ホワイトバランス、測光方式が自動的に各モードの初期値に設定されます。設定は変更できません。

人物を撮影する（美肌モード／ポートレートモード／ベストフレーミングモード）

（美肌モード）、（ポートレートモード）、（ベストフレーミングモード）では、顔認識AFと顔認識AEが働きます。人物に正面からカメラを向けるだけで自動的に顔の位置を見つけだし、ピントを合わせ（顔認識AF）、露出調整して（顔認識AE）撮影できます。

	美肌モード	人物の肌の色をなめらかに美しく仕上げます。
	ポートレート	人物を撮影するときに使います。肌色を明るく健康的に仕上げます。
	ベストフレーミングモード	顔を認識したときに、顔の大きさと位置に基づいた一定の画角で撮影します。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（美肌モード）を選ぶ

前回に（ポートレートモード）または（ベストフレーミングモード）を選んでいる場合は、（ポートレートモード）または（ベストフレーミングモード）を選びます。

3　OKボタンを押す

（美肌モード）を選んだときは選択アイコンが表示されますので、さらに十字キー（▲▼）で使用したいモードを選んで、OKボタンを押してください。

4
撮影

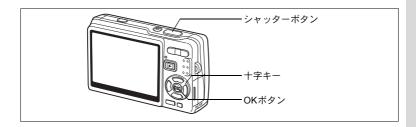
選んだモードで、撮影できる状態になります。
カメラが液晶モニター内の被写体の顔を認識すると、顔の位置に黄色いフォーカスフレームが表示されます。被写体の動きを追尾して、フォーカスフレームの位置と大きさが変化します。

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- ポートレートモードでは、被写体の顔を認識できない場合、通常のAFエリア（マルチ）でピントを合わせます。
- サングラスなどで被写体の顔の一部がさえぎられている場合や、顔の向きが正面ではない場合は、顔認識AFと顔認識AEが働かないことがあります。
- 測光方式は、分割測光に固定されます。
- オートピクチャーモードを選び、ポートレートモードになった場合も、顔認識AFと顔認識AEが働きます。

子供を撮影する（キッズモード）

☻（キッズモード）は、動きの多い子供の撮影に適しています。肌色を明るく健康的に仕上げます。また、顔認識AFと顔認識AEが働きますので、人物の正面にカメラを向けるだけで自動的に顔の位置を見つけだし、ピントを合わせ（顔認識AF）、露出調整して（顔認識AE）撮影できます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、☻（キッズモード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

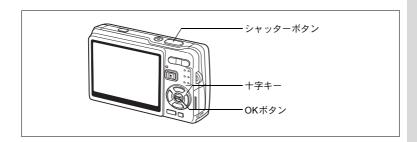
顔認識機能がオンの場合、液晶モニター内の被写体の顔を認識すると、顔の位置に黄色いフォーカスフレームが表示されます。被写体の動きを追尾して、フォーカスフレームの位置と大きさが変化します。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- サングラスなどで被写体の顔の一部がさえぎられている場合や、顔の向きが正面ではない場合は、顔認識AFと顔認識AEが働かないことがあります。
- 測光方式は、分割測光に固定されます。
- 自動追尾AF が働きます。シャッターボタンを半押ししてからも、被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。
- キッズモードで顔認識をしているときに、ストロボがオートまたは強制発光の場合、自動的に赤目軽減発光を行います。

スポーツやレジャーシーンを撮影する（スポーツモード／サーフ&スノーモード）

	スポーツ	動きの速いものを撮影するときに使います。
	サーフ&スノー	海辺やゲレンデなど、背景の明るい場所での写真をきれいに仕上げます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◄►）で、（スポーツモード）を選ぶ

前回に（サーフ&スノーモード）を選んでいれば、アイコンのかわりにアイコンが表示されています。その場合は、（サーフ&スノーモード）を選びます。

3 OKボタンを押す

選択アイコンが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で、（スポーツモード）または（サーフ&スノーモード）を選ぶ

5　OKボタンを押す

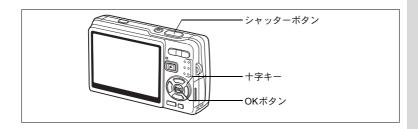
選んだモードで、撮影できる状態になります。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 露出補正、ホワイトバランス、測光方式、彩度、コントラスト、シャープネスは各モードの固定値に設定され、変更できません。
- スポーツモードではストロボが発光禁止に、AF補助光がオフに、AFエリアは追従に設定されますが、これらの設定は変更できます。

ペットを撮影する（ペットモード）

ペットモードでは、ペットの毛色を活かしてきれいに写すことができます。撮りたいペットの毛色が白っぽいか、黒っぽいか、中間の色かでアイコンの色を選択してください。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（ペットモード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

ペット選択画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で、を選ぶ

犬柄と猫柄の2タイプがあります。（犬柄と猫柄はデザインが違うだけで、撮影結果に与える効果は同じです。お好みで使い分けてください。）

5　OKボタンを押す

ペットモードが選択され、撮影できる状態になります。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

ペットモードとスポーツモードでは、自動追尾AFが働きます。シャッターボタンを半押ししてからも、被写体の動きに合わせてピントを追い続けます。

テキストを撮影する（テキストモード）

文字をくっきりと読みやすく撮影することができます。大事な書類を画像にして保存するときやテキストの文字が小さくて読みにくいときに便利です。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、(テキストモード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

テキスト選択画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で、を選ぶ

	カラー	テキストを元の色のまま撮影します。
	カラー反転	カラーが反転します。
	白黒	テキストを白黒で撮影します。
	白黒反転	白黒が反転するように撮影します。

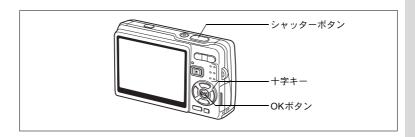
十字キー（◀▶）でコントラストを調整する

5　OKボタンを押す

テキストモードが選択され、撮影できる状態になります。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

暗いシーンを撮影する（夜景モード）

夜景など暗いシーンに適切な設定で、撮影します。

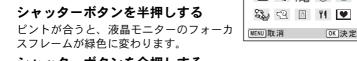
1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、（夜景モード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

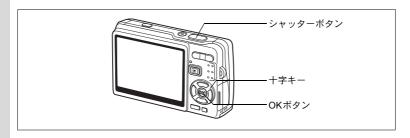
4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

遅いシャッター速度（約1/4秒以下）での撮影では、撮影後に画像からノイズを取り除く機能が働くため、記録時間が長くなります。

暗いシーンで撮影するとシャッター速度が遅くなり、手ぶれしやすくなります。手ぶれを防ぐため、次の方法をおすすめします。（☞p.54、105）

- Shake Reduction 機能を使って撮る。
- Shake Reduction 機能をオフにして、カメラを三脚などに固定して撮る。

手ぶれと被写体ぶれを軽減して撮影する（Digital SRモード）

（Digital SRモード）では、他のモードより高い感度で、ぶれを抑えて撮影することができます。シャッター速度と絞りは、適切な値に自動設定されます。手ぶれや被写体ぶれが起きやすい撮影シーンでお使いください。

4 撮影

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で、（Digital SRモード）を選ぶ

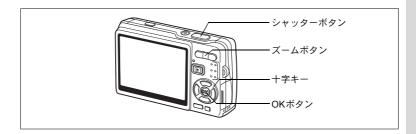
3 OKボタンを押す

4 シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 記録サイズは5M に固定され、他のサイズに変更できません。
- Digital SRモードでは、感度の初期設定はAUTO1600です。感度AUTO調整範囲は、最大ISO50－3200まで指定できるようになります。（p.99）

動画を撮影する（動画モード）

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、🎥（動画モード）を選ぶ

3　OKボタンを押す

以下の撮影情報が液晶モニターに表示され、動画撮影が行える状態になります。

1 顔認識オン　**2** 動画モードアイコン
3 発行禁止マーク　**4** カード/内蔵メモリー
5 撮影可能時間　**6** Movie SRオン

4　シャッターボタンを押す

撮影を開始します。ズームボタンを押すと、デジタルズームで画像の大きさを変えることができます。
ズームボタン（♠）　：被写体が大きく写る。
ズームボタン（♠♠♠）：被写体が小さく写る。

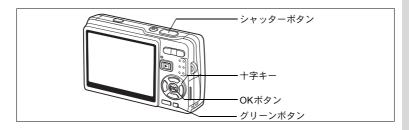
5　シャッターボタンを押す

撮影を終了します。

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている間だけ撮影されます。シャッターボタンから指を離すと、撮影が終了します。

- 動画モードでは、次の機能が使えません。
  - ストロボ
  - 連続撮影
  - 多重露出
  - リモコン操作
  - 光学ズームとインテリジェントズーム（動画撮影開始前には、使えます。）
- 動画モードでデジタルズームを使うには、「撮影」メニューのMovie SRをオフにしてください。（☞p.104）
- 動画モードでは、AFエリアはスポットに、フォーカスリミットとAF補助光はオフに固定されます。フォーカスモードが標準（オートフォーカス）、マクロ、あるいはスーパーマクロのとき、動画撮影開始直前にAF動作が1回行われます。
- 大容量のSDメモリーカードを使用すれば、最大2GBまでの連続撮影が可能です。

動画を再生する☞p.127

フレーム合成モードで撮影する

フレーム合成機能を使って飾り枠付きの画像を撮影できます。カメラにはあらかじめ3種類のフレームが登録されています。

1　撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で、♥（フレーム合成）を選ぶ

3　OKボタンを押す

フレーム選択画面が表示されます。

4　十字キー（◀▶）でフレームを選ぶ

5　OKボタンを押す

被写体がフレームの中に表示されます。

6　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

7 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- 記録サイズは3Mに固定され、他のサイズに変更できません。
- フレーム合成モードでは、連続撮影はできません。

新しく入手したフレームを登録する

手順3でグリーンボタンを押すと、フレーム登録画面に切り替わり、ホームページなどから入手したフレームを使用できます。内蔵メモリー内の3つのフレームと置き換えて使用できます。新しく入手したフレームを使用するには、あらかじめSDメモリーカードにコピーしておきます。

SDメモリーカード内のフレームを登録すると、内蔵メモリーに登録されているフレームと置き換わり、内蔵メモリー内のフレームは削除されます。

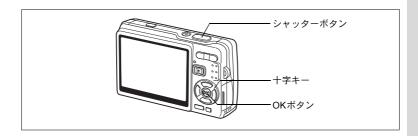
1 フレームを選択する画面で、置き換えたいフレームを選び、グリーンボタンを押す

メッセージが表示された後、SDメモリーカード内の使用できるフレームが表示されます。

2 十字キー（◀▶）で登録するフレームを選び、OKボタンを押す

表示されているフレームの代わりに、選択したフレームが登録されます。

新しいフレームは、弊社ホームページの下記URLアドレスからダウンロードできます。

http://www.pentax.co.jp/japan/support/download/digital/frame_02.html

セルフタイマーを使って撮影する

シャッターボタンを押してから、10秒後、または2秒後に撮影します。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）で ⏲（セルフタイマー）または ⏲2s（2sセルフタイマー）を選ぶ

3　OKボタンを押す

セルフタイマーを使って撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

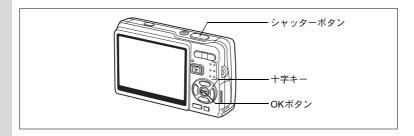
セルフタイマーが起動します。

⏲（セルフタイマー）の場合　：セルフタイマーランプが約7秒間点灯します。それから約3秒点滅し、撮影されます。

⏲2s（2s セルフタイマー）の場合：セルフタイマーランプがすぐ点滅し、約2秒後に撮影されます。

セルフタイマー作動中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。

- セルフタイマー作動中には、液晶モニターにカウントダウンが表示されます。
- カウントダウン中にシャッターボタンを半押しすると、カウントダウンを中止します。全押しすると、カウントダウンをやり直します。

こんなときには「ピントが合わない」☞p.194

連続して撮影する（連続撮影）

ドライブモードを連続撮影に切り替えます。シャッターボタンを押している間、連続して撮影できます。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）で ⧉（連続撮影）を選ぶ

3　OKボタンを押す

連続撮影できる状態になります。

4　シャッターボタンを半押しする

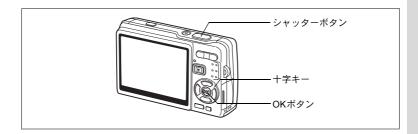
ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

5　シャッターボタンを全押しする

シャッターボタンを押している間、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと、撮影が終了します。

- SDメモリーカードまたは内蔵メモリーの容量がいっぱいになるまで、連続撮影できます。
- 連続撮影の間隔は、記録サイズや画質の設定によって異なります。
- 次の条件では、連続撮影の間隔が長くなることがあります。
  - 感度が1600の場合
  - インテリジェントズームを使用する場合
  - Digital SRモード、美肌モード、ベストフレーミングモード、夜景モードを使用する場合
  - D-レンジ補正を使用する場合
  - 日付写し込み機能を使用する場合

- 連続撮影では、ストロボは発光しません。
- 動画モード、フレーム合成モードでは、連続撮影はできません。
- ピント、露出、ホワイトバランスは1枚目で固定されます。

4
撮影

多重露出して撮影する

ドライブモードを多重露出に切り替えます。複数回の撮影結果を重ねて1枚の画像として保存します。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◀▶）で（多重露出）を選ぶ

3　十字キー（▲▼）で撮影枚数を決める

4　OKボタンを押す

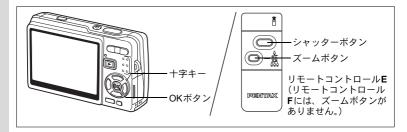
5　シャッターボタンを半押しする

ピントが合うと、液晶モニターのフォーカスフレームが緑色に変わります。

6　シャッターボタンを全押しする

7　設定した撮影回数分だけ5、6を繰り返す

- を選択すると、ぶれ防止のために、カメラのシャッターボタンを押してから約2秒後にシャッターが切れる2秒セルフタイマーモード、あるいはシャッターを切るのにリモコン（別売）が使用できます。
- 多重撮影を途中で中止するには、ドライブモードを変更してください。

- 設定した枚数を撮影する前に多重露出撮影を中止した場合は、それまで撮影した画像は記録されません。
- 多重露出時は、記録サイズが5Mに固定されます。（ベストフレーミング併用時は3Mになります）

リモコンを使って操作する（別売）

ドライブモードをリモコン撮影に切り替え、リモートコントロールEまたはF（別売）を使って撮影が可能です。

4
撮影

リモコンを使って撮影する

1 撮影モードで十字キー（▲）を押す

2 十字キー（◀ ▶）で 3s（3sリモコン）または （0sリモコン）を選ぶ

3 OKボタンを押す

セルフタイマーランプがゆっくり点滅を始め、リモコンで撮影できる状態になります。

4 リモコンのシャッターボタンを押す

3s（3sリモコン）の場合：セルフタイマーランプが速く点滅し、約3秒後に撮影されます。
（0sリモコン）の場合：すぐに撮影されます。

- セルフタイマーランプの点滅中に構図を変えると、ピントが合わなくなります。
- 動画モードでは、リモコンは使用できません。

リモコンを使ってズームを変更する

リモートコントロールE（別売）では、シャッターボタンによる撮影のほか、ズームボタンを使ってズーム倍率を変えることができます。

1　撮影モードで十字キー（▲）を押す

2　十字キー（◄►）で(3sリモコン)または(0sリモコン)を選ぶ

(3sリモコン）でも(0sリモコン）でも動作は同じです。

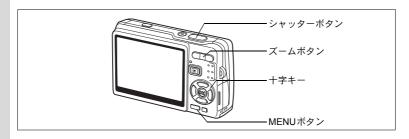
3　リモコンのズームボタンを押す

押すたびに、ズーム位置が望遠、中間、広角の3段階で切り替わります。

スーパーマクロモードでは、リモコンでズーム倍率を変更できません。マクロモードでは変更可能です。

- 本体のボタンは、通常と同じように操作できます。
- リモコンの届く距離は、カメラ正面から約4m程度です。
- リモコンで操作できるのは、光学ズームのみです。インテリジェントズームとデジタルズームは操作できません。

リモコン用電池の寿命

リモコンからカメラへ約30,000回信号を送信することができます。電池の交換は最寄りのペンタックスお客様窓口にご相談ください。（交換は有料になります）

ズームを使って被写体の大きさを変える

ズームを使うと、遠くの被写体をクローズアップで写したり、広い風景を撮影することができます。

1　撮影モードで、ズームボタンを押す

ズームボタン（♠♠♠）：被写体が小さく写る（広角）。
ズームボタン（♠）：被写体が大きく写る（望遠）。押し続けると、自動的に光学ズーム、インテリジェントズーム、デジタルズームに切り替わります。

ズームバーは、次のように表示されます。

高画質のままズームします。　画質はやや低下します。

光学ズーム域*1　インテリジェントズーム域*2　デジタルズーム域

*1 光学3倍までズームできます。
*2 記録サイズにより、インテリジェントズーム域は変化します。次の表をご覧ください。

4 撮影

記録サイズとズーム倍率

記録サイズ	光学ズーム域	インテリジェントズーム域	デジタルズーム域
12M	1×～3×		3.3× ～17.9×
10M	1×～3×	3.3×	3.9× ～17.9×
7M	1×～3×	3.3×～3.9×	4.6× ～17.9×
5M	1×～3×	3.3× ～4.6×	5.7× ～17.9×
3M	1×～3×	3.3×～ 5.7×	11.4× ～17.9×
1024	1×～3×	3.3× ～11.4×	13.9× ～17.9×
640	1×～3×	3.3×～17.9×	

- 次の場合、インテリジェントズームは使えません。
  - デジタルズームがオフになっているとき
  - 記録サイズが12Mのとき（光学3倍ズームは使えます。）
  - Digital SRモード、動画モード時
- インテリジェントズームで高倍率に拡大すると、液晶モニターの画像があらく見えることがあります。撮影した静止画の画質には、影響はありません。
- 動画モードでは、デジタルズームのみ使えます。使うには、「撮影」メニューのMovie SRをオフにしてください。（☞p.104）

デジタルズーム機能を設定する

初期設定では、デジタルズームは「☑（オン）」に設定されています。光学ズームだけを使って撮影したい場合は、「□（オフ）」に設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

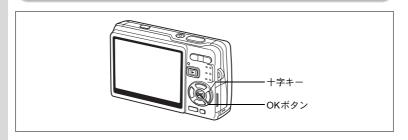
2　十字キー（▲▼）を押して「デジタルズーム」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能のオン／オフを保存する☞p.117

撮影のための機能を設定する

フォーカスの設定を変える

フォーカスモード

AF	標準 （オートフォーカスモード）	シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。被写体までの距離が約35cm以上のときに使用します。
🌷	マクロモード	被写体までの距離が約12cm～40cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。
S🌷	スーパーマクロモード	被写体までの距離が約6cm～15cmのときに使用します。シャッターボタンを半押ししたときにAFエリアにあるものに、ピントを合わせます。
PF	パンフォーカスモード	近くの被写体と遠くの景色を一緒に撮るときや、被写体にフォーカスが合わせにくいときに使います。
▲	無限遠モード	遠くにあるものを撮影するときに使用します。
MF	マニュアルフォーカスモード	手動でピントを合わせます。

フォーカスモードを保存する☞p.117

1　撮影モードで十字キー（▶）を押す

2　十字キー（▲▼）で、使用したいフォーカスモードを選ぶ

3　OKボタンを押す

設定したフォーカスモードで撮影できる状態になります。

AF補助光について

- 暗いところでオートフォーカス撮影（ピント合わせ動作）を行うと、被写体に対してAF補助光が照射されることがあります。
- 本製品のAF補助光は、LEDに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1に適合しています。AF補助光を直接見ても安全上の問題はありませんが、多少まぶしく感じますので、発光部を至近距離から直接のぞきこむことはしないでください。

- フォーカスモードの初期設定は、標準（オートフォーカス）です。
- スーパーマクロモードでは、ズームがワイド端に固定されます。
- 動画モードでフォーカスモードが標準（オートフォーカス）、マクロ、あるいはスーパーマクロのとき、動画撮影開始直前にAF動作が1回行われます。

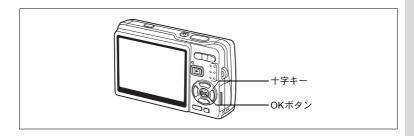
マニュアルでフォーカスを設定する

MF（マニュアルフォーカス）でOKボタンを押すと、画面中央部が液晶モニターいっぱいに拡大され、ピント調節ができます。十字キー（▲▼）を押すと、液晶モニターのインジケータの表示が変わります。これを目安に、十字キー（▲▼）で画面のピントを合わせます。

十字キー（▲）：遠くにピントが合う。
十字キー（▼）：近くにピントが合う。

インジケータ

フォーカス位置が決まり、OKボタンを押すとフォーカス位置が確定され、通常の撮影画面に切り替わります。
再調整するには、十字キー（▶）を押してください。

- 設定しているときに、十字キー（▲▼）を押し続けると、速くピント合わせができます。
- 動画モードでマニュアルフォーカスを使用するときは、動画撮影開始前にピント合わせを行ってください。動画撮影中はピント調節ができません。
- マニュアルフォーカスからフォーカスモードを変更するには、インジケータが表示されている画面で、十字キー（▶）を押してください。

ストロボの発光方法を選択する

ストロボの発光方法

⚡A	オート	暗いときや逆光のときにストロボを発光します。
⊘	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。夕景撮影やストロボの使えない場所（美術館など）での撮影にご利用ください。
⚡	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
👁A	オート＋赤目	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。自動的にストロボを発光します。
👁⚡	強制＋赤目	ストロボの光が目に反射して、赤く写るのを軽減します。 常にストロボを発光します。
SOFT⚡	ソフト	ストロボの光量を絞り、近い距離でストロボを発光しても明るすぎないようにします。常にストロボを発光します。

- 次の場合、ストロボは発光禁止になります。発光方法は変更できません。
  - 動画モード時
  - 連続撮影時
  - フォーカスモードが無限遠のとき
- ストロボが発光するときには、プリ発光（予備発光）した後、最後の発光で撮影を行います（赤目軽減機能を使用する場合は、プリ発光と最後の発光の間隔が長くなります）。

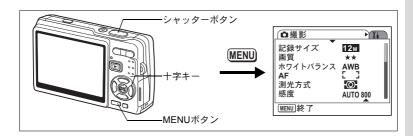
1　撮影モードで十字キー（◀）を押す

2　十字キー（▲▼）でストロボの発光方法を選ぶ

3　OKボタンを押す

選択したストロボ発光方法で撮影できる状態になります。

ストロボ発光方法を保存する☞p.117

- マクロモードでストロボを使用すると、画像が白トビ（露出オーバー）になることがあります。
- スーパーマクロモードでは、自動的にストロボ発光禁止に設定されますが、発光方法の切り替えは可能です。
- スーパーマクロモードでストロボ撮影を行うと、画面の左下が暗くなります。
- 夜景モードでストロボを使用すると、暗いシーンではシャッター速度が遅くなりますので、ご注意ください。
- 夜景撮影などシャッター速度が遅くなるシーンでは、Shake Reductionの効果が十分にあらわれないことがあります。その場合はShake Reduction機能をオフにして、カメラを三脚などに固定して撮影することをお勧めします。（☞p.105）

静止画の記録サイズを選択する

用途に合わせて、静止画の記録サイズ（画素数）を選びます。
記録サイズが大きいほど画像はきれいですが、画像データのサイズも増えます。データのサイズは、選んだ画質によっても異なります
(☞p.93)。

記録サイズ

記録サイズ		用途
12M (4000×3000)	鮮明、きれい ↑	フォトプリントなどの高画質印刷、A4以上の大判プリント、画像編集・加工など
10M (3648×2736)		
7M (3072×2304)		
5M (2592×1944)		
3M (2048×1536)		はがきサイズプリント、ホームページ掲載、電子メール添付など
1024 (1024×768)		
640 (640×480)		

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「記録サイズ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

4
撮影

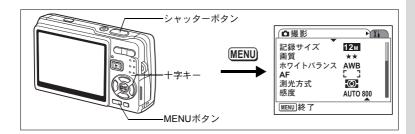
4 十字キー（▲▼）で記録サイズを切り替える

選んだ記録サイズで撮影できる枚数が表示されます。

5 シャッターボタンを半押しする

撮影ができる状態になります。

- 記録サイズを大きくすると、プリントしたときに、より鮮明な画像が得られます。
- 記録サイズの設定は、電源をオフにしても保持されます。
- 記録サイズにより、インテリジェントズーム域が違います。（☞p.85）

記録サイズと画質☞p.25

静止画の画質を選択する

用途に合わせて、静止画の画質を選びます。
★が多いほど画像はきれいですが、画像データのサイズも増えます。データのサイズは、選んだ記録サイズによっても異なります（☞p.91）。

画質

★★★	S.ファイン	圧縮率が最も低く、写真用のプリントなどに適しています。
★★	ファイン	圧縮率が標準で、パソコンの画面で画像を見るときに適しています。
★	エコノミー	圧縮率が最も高く、電子メールへの添付やホームページ作成用に適しています。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）を押して「画質」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

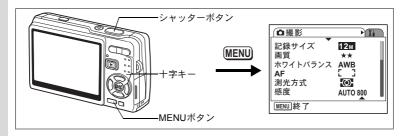
4 十字キー（▲▼）で画質を切り替える

選んだ画質で撮影できる枚数が表示されます。

5 シャッターボタンを半押しする。

撮影ができる状態になります。

画質の設定は、電源をオフにしても保持されます。

記録サイズと画質☞p.25

ホワイトバランスを調整する

撮影する場所の光の状態で、写真の色合いは変わります。目で見たままの自然な色を再現するために、ホワイトバランスを調整します。

ホワイトバランス

AWB	オート	調整をカメラにまかせます。
☼	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定します。
⌂	日陰	日陰で撮影するときに設定します。
白熱灯アイコン	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたものを撮影するときに設定します。
蛍光灯アイコン	蛍光灯	蛍光灯のもとで撮影するときに設定します。
マニュアルアイコン	マニュアル	手動で調整して撮影するときに設定します。 光の状態が複雑な撮影シーンや、より正確に色を再現したいときに使います。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「ホワイトバランス」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ホワイトバランスの選択画面が表示されます。

4　十字キー（▲▼）で設定を選ぶ

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

ホワイトバランスを保存する☞p.117

マニュアルで設定する

あらかじめ、白い紙などホワイトバランスの調整に用いる素材を用意しておきます。

1　ホワイトバランスの選択画面で 　（マニュアル）を選ぶ

2　ホワイトバランスの調整に用いる素材（白い紙など）にレンズを向け、液晶モニターいっぱいに表示されるよう、カメラを構える

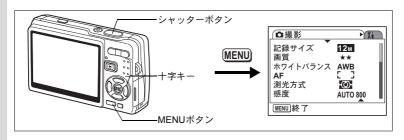
3　グリーンボタンを押す

ホワイトバランスが自動的に調整されます。
ホワイトバランスが自動調整されると、液晶モニターに「完了」と表示されます。

4　OKボタンを押す

今行った設定が保存され、「撮影」メニューに戻ります。

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

オートフォーカス条件を設定する

オートフォーカスの範囲や方式を設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「AF」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

オートフォーカスの設定画面が表示されます。

オートフォーカス範囲を設定する（AFエリア）

オートフォーカスの対象となる範囲（AFエリア）を設定します。

AFエリア

[ ]	マルチ	画面中央部の広範囲（AFエリア枠内）を測距し、一番近いものにピントを合わせます。
[ ]	スポット	測距する範囲（AFエリア枠）を絞り込み、特定の被写体にピントを合わせやすくします。
	自動追尾AF	シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きを追ってピントを合わせ続けます。

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

5　十字キー（▲▼）でAFエリアを切り替える

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

オートフォーカスの設定を保存する☞p.117

4
撮影

フォーカスリミットを設定する

レンズの移動範囲を状況に応じて制限します。
「フォーカスリミット」を「☑（オン）」にすると、レンズの移動が通常の撮影では遠距離側に、マクロ撮影では近距離側に制限されます。素早いピント合わせが可能になります。

4　十字キー（▲▼）で「フォーカスリミット」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

AF補助光を設定する

補助光を設定して、被写体が暗く、オートフォーカスが正確に作動しない環境でピントを合わせやすくします。

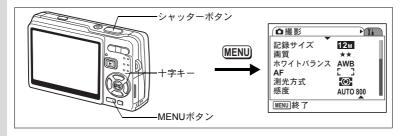
4　十字キー（▲▼）で「AF補助光」を選ぶ

5　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

本製品のAF補助光は、LEDに関する安全基準（IEC60825-1）クラス1に適合しています。AF補助光を直接見ても安全上の問題はありませんが、多少まぶしく感じますので、発光部を至近距離から直接のぞきこむことはしないでください。

次の場合、AF補助光は発光しません。
- 動画モード時
- 風景モード時（ただしAF補助光の設定をオンにすれば、発光させることができます。）
- フォーカスモードが、パンフォーカス、無限遠、マニュアルフォーカスのいずれかのとき
- AFエリアが、自動追尾AFのとき

測光方式を設定する

画面のどの部分で明るさを測り、露出を決定するのかを設定します。

測光方式

アイコン	方式	説明
(分割)	分割	画面全体をきめ細かく測光して露出を決定します。
(中央部重点)	中央部重点	画面中央を重点的に測光して露出を決定します。
(スポット)	スポット	画面の中央のみを測光して露出を決定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「測光方式」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

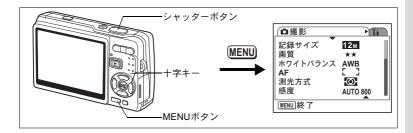
ポップアップメニューが表示されます。

4　十字キー（▲▼）で測光の方式を選ぶ

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

測光方式を保存する☞p.117

シャッター優先モード、マニュアルモードでは、分割測光は選択できません。

感度を設定する

カメラの撮像素子の光に対する敏感さを、感度（ISO感度）といいます。数値が小さいほど感度は低く、大きいほど高くなります。撮影する場所の明るさに応じて、感度を調整します。

感度

<table>
<tr><td>AUTO</td><td>初期設定はAUTO800（50-800）で、AUTO調整範囲は、50-100、50-200、50-400、50-800、50-1600から指定できます。
※ Digital SRモード時は初期設定がAUTO1600（50-1600）で、調整範囲の上限はAUTO3200（50-3200）まで指定可能です。</td></tr>
<tr><td>50</td><td rowspan="6">↕ 感度が低いと、画像はノイズが少なく、シャープになります。
ただし、暗い場所ではシャッター速度が遅くなります。
感度が高いと、暗い場所でもシャッター速度を速くできます。
画像には、ノイズが増えます。
（Digital SRモードでは、3200も設定可能です。）</td></tr>
<tr><td>100</td></tr>
<tr><td>200</td></tr>
<tr><td>400</td></tr>
<tr><td>800</td></tr>
<tr><td>1600</td></tr>
</table>

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「感度」を選ぶ

4

撮影

3 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で感度の設定値を選ぶ

選択枠が[800]にあるとき十字キー（▼）を押すと、[1600]（Digital SRモードでは[1600]と[3200]）が表示されます。

撮影
記録サイズ AUTO 800
画質 50
ホワイトバランス 100
AF 200
測光方式 400
感度 800
MENU 取消 OK 決定

AUTO調整範囲を指定しない場合

5 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

AUTO調整範囲を指定する場合

5 「AUTO」を選び、十字キー（▶）を押す

AUTO調整範囲の選択画面が表示されます。

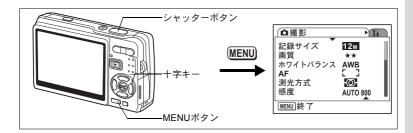
撮影
記録サイズ AUTO 800
画質 50
ホワイトバランス 100
AF 200
測光方式 400
感度 800
MENU 取消 OK 決定

6 十字キー（▲▼◀▶）で、調整範囲を選ぶ

7 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

感度を保存する☞p.117

- 動画モードの感度は、オートに固定されています。設定は変更できません。
- シャッター優先モードの感度は、AUTO800に固定されています。設定は変更できません。
- マニュアルモードでは、感度のAUTO調整は選択できません。
- AUTO調整範囲は、モードメモリの設定にかかわらず常に保持されます。感度の設定は、モードメモリの感度がオンの場合にのみ保持されます。

露出を補正する

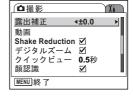
露出（カメラの撮像素子にとどく光の量）を変えると、写真の明るさが変化します。カメラが自動設定した露出を変えて、好みにあわせた写真に仕上げることができます。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）を押して「露出補正」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で露出補正量を選ぶ

＋側：画像全体を明るめ（露出オーバー）にする。
－側：画像全体を暗め（露出アンダー）にする。

露出補正の値は、－2.0EV～＋2.0EVの範囲を1/3EV単位で切り替えます。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

露出補正値を保存する☞p.117

オートピクチャーモードでは、露出補正は±0.0に固定されます。

4
撮影

シャッターボタン
十字キー
MENUボタン
MENU
撮影
記録サイズ 12M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 AUTO 800
MENU 終了

動画撮影のための条件を選択する

動画撮影のための記録サイズや画質などを選択します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「動画」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

動画撮影の条件を選択する画面が表示されます。

動画の記録サイズを選択する

動画の記録サイズは「640（640×480）」、「320（320×240）」から選べます。記録サイズが大きくなるほど、画像データのサイズも増えます。データサイズは画質の設定によっても異なります。

記録サイズ

640 (640×480)	VGAサイズで高画質な動画を楽しめます。 ただし記録時間は短くなります。
320 (320×240)	画像の容量が小さくなるため、記録時間が長くなります。

4 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

5 十字キー（▲▼）で動画の記録サイズを選ぶ

それぞれの設定値を選んだ場合の撮影可能時間が表示されます。

6 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

動画の記録サイズと画質☞p.26

動画の画質を選択する

動画の画質は「★★★（S.ファイン）」、「★★（ファイン）」、「★（エコノミー）」から選べます。★が多いほど、画像はきれいになり容量が増えます。

4 十字キー（▲▼）で「画質」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

6 十字キー（▲▼）で画質を切り替える

それぞれの設定値を選んだ場合の撮影可能時間が表示されます。

7 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

動画の記録サイズと画質☞p.26

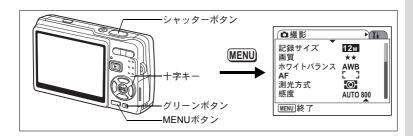
動画の手ぶれを補正する（Movie SR）

「Movie SR」を「☑（オン）」にすると、動画手ぶれ補正機能が働きます。手ぶれを自動的に補正して、なめらかで美しい動画を撮影できます。

4 **十字キー（▲▼）で「Movie SR」を選ぶ**

5 **十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える**

動画撮影中にデジタルズームを使うには、Movie SRをオフにしてください。

4 撮影

静止画のShake Reduction（手ぶれ補正）機能をオンにする

静止画のShake Reduction（手ぶれ補正）機能を使うには、「撮影」メニューの「Shake Reduction」を「☑オン」にしておきます。Shake Reduction 機能の使いかたについて詳しくは、p.54をご覧ください。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）で「Shake Reduction」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

☑（オン）：シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に（Shake Reductionオン）が表示される。

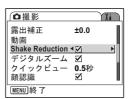
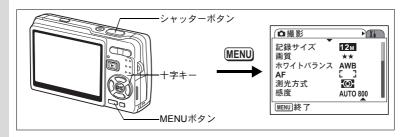
□（オフ）：（Shake Reductionオフ）が、撮影画面に常に表示される。

4 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

Shake Reductionのオン／オフは、グリーンボタンで切り替えることもできます。グリーンボタンに別の機能を割り当てているときは、この機能は使えません。（☞p.110）

4

撮影

クイックビューの時間を設定する

クイックビュー（撮影直後の画像表示）の表示時間を「オフ（表示しない)」、「0.5秒」、「1秒」、「2秒」、「3秒」、「5秒」から選択します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー(▲▼)で「クイックビュー」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

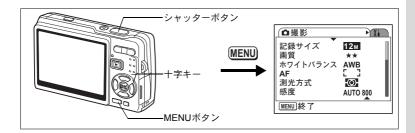
ポップアップメニューが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で表示時間を選ぶ

5 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

クイックビューの設定は、電源をオフにしても保持されます。

4 撮影

顔認識機能をオンにする

顔認識機能を使うには、「📷撮影」メニューの「顔認識」を「☑オン」にしておきます。撮影時に顔認識AFと顔認識AEが働くようになり、人物の正面にカメラを向けるだけで自動的に顔の位置を見つけだし、ピント合わせ（顔認識AF）や露出調整（顔認識AE）を行います。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）で「顔認識」を選ぶ

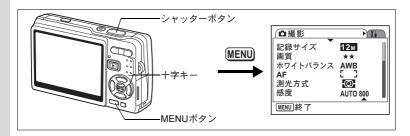
3 十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

☑（オン）：　シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に（顔認識オン）が表示される

□（オフ）：　（顔認識オフ）が、撮影画面に常に表示される

4 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

- 顔認識機能をオンにしておくと、撮影モードにかかわらず、顔認識機能が働くようになります。
- サングラスなどで被写体の顔の一部がさえぎられている場合や、顔の向きが正面ではない場合は、顔認識AFと顔認識AEが働かないことがあります。

D-レンジ補正を設定する

D-レンジ補正（画面全体の露出を保ったまま、暗い部分を明るくします）を「オフ（表示しない）」、「弱」、「強」、「オート」から選択します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

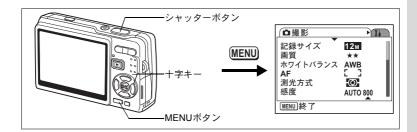
2　十字キー（▲▼）で「D-レンジ補正」を選ぶ

3　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

4　十字キー（▲▼）でD-レンジ補正の設定を選ぶ

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

一気押しPF機能をオンにする

シャッターを半押しせずに一気押しをして、実際に撮影する際のタイムラグを短くします。一気押しPF機能を使うには、「撮影」メニューの「一気押しPF」を「☑オン」にしておきます。
一気押しPF機能を使うと、画面全体にピントがあった写真になります。一瞬のシャッターチャンスを逃したくないときに、便利です。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

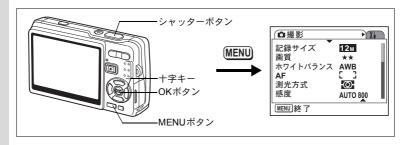
「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「一気押し PF」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

撮影できる状態になります。

一気押しPF機能は、フォーカスモードが標準（オートフォーカス）で、撮影メニューの一気押しPFがオンのときに働きます。

4
撮影

グリーンボタンを設定する

グリーンボタンに「グリーンモード」（p.56）、「顔認識」（p.107）、「D-レンジ補正」（p.108）、「Shake Reduction」（p.54）、「Fn設定」（p.111）のいずれかの機能を登録できます。グリーンボタンを押すだけで、登録されている機能に切り替わります。

機能を登録する（グリーンモード／顔認識／D-レンジ補正／Shake Reduction）

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）で「グリーンボタン」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

グリーンボタンの設定画面が表示されます。

4 十字キー（▲▼）で登録する機能を選ぶ

5 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

初期設定では、グリーンモードが登録されています。

よく使う機能を設定する（Fn設定）

よく使う機能を十字キーに登録します。撮影時にメニューを表示しなくても、十字キーを押すことで直接機能を設定することができます。「Fn設定」は静止画撮影モードと動画撮影モードで異なる設定になっています。動画撮影時の「Fn設定」を行うには、p.110の手順1で、動画モードでMENUボタンを押してください。

4　十字キー（▲▼）で「Fn設定」を選ぶ

5　OKボタンを押す

Fn設定画面が表示されます。

6　十字キー（▲▼）で登録するキーを選ぶ

7　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

8　十字キー（▲▼）で登録する機能を選ぶ

9　OKボタンを押す

10　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

注意　この機能は、グリーンボタンにFn設定を割り当てたときにのみ有効です。

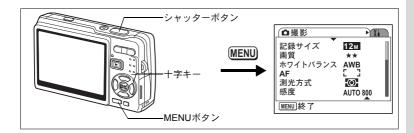
各キーに登録できる機能は、ひとつだけです。

4 撮影

Fn設定の初期値

	静止画撮影	動画撮影
初期設定	(▲)Shake Reduction	(▲)Movie SR
	(▼)露出補正	(▼)露出補正
	(◀)顔認識	(◀)顔認識
	(▶)D-レンジ補正	(▶)画質

Fn設定の設定可能項目

	静止画撮影	動画撮影
設定項目	記録サイズ	記録サイズ
	画質	画質
	ホワイトバランス	Movie SR
	測光方式	ホワイトバランス
	感度	露出補正
	露出補正	顔認識
	Shake Reduction	シャープネス
	顔認識	彩度
	D-レンジ補正	コントラスト
	シャープネス	
	彩度	
	コントラスト	

シャープネスを設定する

画像の輪郭をハードまたはソフトにします。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「シャープネス」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）でシャープネスを切り替える

－側：シャープネスを弱める。
＋側：シャープネスを強める。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

シャープネスの設定は、電源をオフにしても保持されます。

シャッターボタン
十字キー
MENUボタン
MENU
撮影
記録サイズ 12M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 AUTO 800
MENU 終了

彩度を設定する

色の鮮やかさを設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

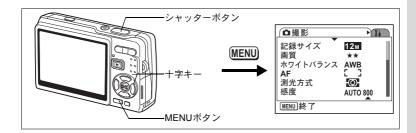
2　十字キー（▲▼）で「彩度」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）で彩度を切り替える

－側：彩度を弱める。
＋側：彩度を強める。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

彩度の設定は、電源をオフにしても保持されます。

コントラストを設定する

画像内の明暗差を設定します。

1　撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▲▼）で「コントラスト」を選ぶ

3　十字キー（◀▶）でコントラストを切り替える

－側：コントラストを弱める。
＋側：コントラストを強める。

4　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

コントラストの設定は、電源をオフにしても保持されます。

シャッターボタン
十字キー
MENUボタン
MENU
撮影
記録サイズ 12M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 AUTO 800
MENU 終了

日付を写し込む

静止画に日付を埋め込みます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）で「日付写し込み」を選ぶ

3 十字キー（◀▶）で☑（オン）／□（オフ）を切り替える

4 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

埋め込まれた日付は画像の一部になるため、元には戻せません。

4 撮影

設定を保存する

メニュー項目を保存する（モードメモリ）

電源をオフにしたあとも、各メニューに設定した値を保存することができます。この機能を、モードメモリと呼びます。
「☑（オン)」を選ぶと、電源をオフにする直前の設定値が保存されます。
「□（オフ）」を選ぶと、電源をオフにしたときに、自動的に初期設定に戻ります。
モードメモリの「☑（オン）／□（オフ)」は、メニュー項目ごとに設定できます。

モードメモリを設定できるメニュー項目

項目	保存する内容	初期設定
ストロボモード	⚡ボタンで設定したストロボの発光方法を保存します。	☑
ドライブモード	撮影中に十字キー（▲）で選んだドライブモード（セルフタイマー・連続撮影など）を保存します。	□
フォーカスモード	マクロボタンで設定したフォーカスモードを保存します。	□
ズーム位置	ズームボタンで設定した光学ズーム位置を保存します。	□
MF位置	マニュアルフォーカスの位置を保存します。	□
ホワイトバランス	「📷撮影」メニューの「ホワイトバランス」での設定を保存します。	□
測光方式	「📷撮影」メニューの「測光方式」で設定した測光方式を保存します。	□
感度	「📷撮影」メニューの「感度」で設定した値を保存します。	□
露出補正	「📷撮影」メニューの「露出補正」で設定した露出補正値を保存します。	□
デジタルズーム	「📷撮影」メニューの「デジタルズーム」での設定（オン／オフ）を保存します。	☑
DISPLAY	液晶モニターの表示モードを保存します。	□
ファイルNo.	ファイル番号を保存します。SDメモリーカードを入れ替えた場合でも連番でファイル名を作成します。	☑

- モードメモリでズーム位置を保存できるのは、光学ズームのみです。インテリジェントズーム位置とデジタルズーム位置は、保存できません。
- 感度AUTO調整範囲の設定値は、モードメモリの設定にかかわらず、常に保存されます。
- 「ファイルNo.」をオンにすると、最後に撮影した画像のファイルNo.が記憶され、新しいSDメモリーカードを入れても続きのファイルNo.になります。また、画像が記録されたSDメモリーカードを入れたときも、ファイルNo.は続き番号で保存されます。
- 「ファイルNo.」をオフにすると、新しいSDメモリーカードを入れるたびに画像のファイルNo.が一番小さな番号に戻ります。なお、画像が記録されたSDメモリーカードを入れたときは、続きの番号で保存されます。

1 撮影モードでMENUボタンを押す

「撮影」メニューが表示されます。

2 十字キー（▲▼）で「モードメモリ」を選ぶ

3 十字キー（▶）を押す

モードメモリのメニューが表示されます。

4 十字キー（▲▼）で項目を選ぶ

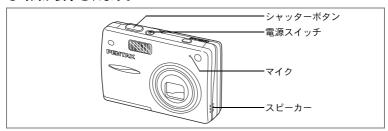
5 十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

6 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

モードメモリ
ストロボモード ☑
ドライブモード □
フォーカスモード □
ズーム位置 □
MF位置 □
ホワイトバランス □
MENU 取消　OK 決定

音声を録音する（ボイスレコーディングモード）

音声を記録します。SDメモリーカードの空き容量に応じて、録音できる時間が表示されます。

1 撮影モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で 🎙（ボイスレコーディングモード）を選ぶ

3 OKボタンを押す

液晶モニターに録音可能な時間が表示されます。

1 残り録音可能時間
2 録音時間

4 シャッターボタンを押す

録音が開始されます。録音中は、アクセスランプが点灯します。
シャッターボタンを1秒以上押し続けると、押している間だけ録音されます。シャッターボタンを離すと、録音を停止します。

5 シャッターボタンを押す

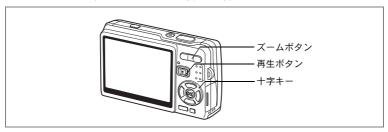
録音が終了します。残り録音可能時間が表示されます。

6 十字キー（▼）を押してモードパレットを開き、🎙（ボイスレコーディング）以外のモードに切り替える

ボイスレコーディングモードが終了します。

- 音声はモノラルのWAVEファイルで記録されます。
- マイクはカメラ前面に付いています。最適な状況で録音できるように、カメラの向きを調整してください。
- 録音中にMENUボタンを押すと、録音中の音声にインデックスを付けることができます。
- 大容量のSDメモリーカードを使用すれば、最長24時間までの連続録音が可能です。

音声を再生する

ボイスレコーディングモードで録音した音声を再生します。

1　ボイスレコーディングモードで、▶再生ボタンを押す

2　十字キー（◀▶）で再生したい音声を選ぶ

3　十字キー（▲）を押す

再生を開始します。

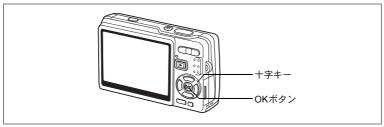
ファイルの総録音時間

十字キー（▲）	：一時停止する。もう一度押すと、再開する。
インデックスがない場合	
十字キー（◀）	：約5秒戻る。
十字キー（▶）	：約5秒進む。
インデックスがある場合	
十字キー（◀）	：前のインデックス位置から再生。
十字キー（▶）	：次のインデックス位置から再生。
ズームボタン（♠）	：音量を大きくする。
ズームボタン（♠♠♠）	：音量を小さくする。

4　十字キー（▼）を押す

再生を停止します。

ボイスメモを付ける

撮影した画像にボイスメモを付けることができます。

ボイスメモを録音する

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを付けたい画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で （ボイスメモ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

ボイスメモの録音を開始します。最長30秒録音することができます。

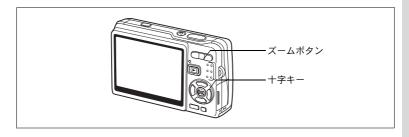
ボイスメモ

MENU取消　OK決定

5　OKボタンを押す

ボイスメモの録音が終了します。

- ボイスメモを付けると、画面に が表示されます。
- すでにボイスメモが録音されている画像にボイスメモを上書きすることはできません。いったんボイスメモを消去してから、もう一度録音してください。（☞p.135）

プロテクトされている画像にボイスメモを付けることはできません。

ボイスメモを再生する

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でボイスメモを再生する画像を選ぶ

再生された画像に♪が表示されていれば、ボイスメモが録音されています。

2　十字キー（▲）を押す

ボイスメモが再生されます。
ズームボタン（♠）　：音量を大きくする。
ズームボタン（♠♠♠）：音量を小さくする。

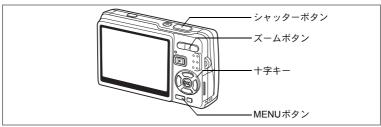
3　十字キー（▼）を押す

ボイスメモの再生を停止します。

ボイスメモを消去する☞p.135

5 録音・再生

画像を再生する

SDメモリーカードの画像と、内蔵メモリーの画像の再生を楽しむことができます。

静止画を再生する

▶再生ボタンを押します。

SDメモリーカードを入れているとき

SDメモリーカードの画像を再生します。再生中は、画面右上に□が表示されます。

SDメモリーカードを入れていないとき

内蔵メモリーの画像を再生します。再生中は、画面右上に◘が表示されます。

操作方法は「画像を再生する」(p.34)「前後の画像を再生する」(p.34)をご覧ください。

拡大して再生する

再生する画像を最大8倍まで拡大表示できます。

1 再生モードに入り、十字キー（◀▶）で拡大表示したい画像を選ぶ

2 ズームボタンの♠/🔍を押す

押すたびに1.3倍、2.0倍、2.6倍、4.0倍、5.3倍、8.0倍と一段階ずつ拡大します。
画像のどの部分を拡大しているかを、画面左下のガイド表示で確認できます。

十字キー（▲▼◀▶）：拡大位置を移動する。
ズームボタン（♠）：画像を大きくする。
ズームボタン（♠♠♠）：画像を小さくする。

3　MENUボタンを押す

拡大再生が終了します。

クイック拡大をオン／オフする

拡大再生時にズームボタンの🔍/Q を1回押すだけで、最大倍率まで拡大できます。

1　MENUボタンを押す

「📷撮影」メニューが表示されます。

2　十字キー（▶）を押す

3　十字キー（▲▼）で「クイック拡大」を選ぶ

4　十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

5　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

6

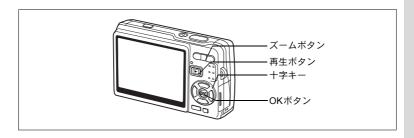
再生・消去・画像編集

内蔵メモリーの画像を呼び出す

内蔵メモリーにお気に入りの画像や音声を保存すると、いつでも呼び出して楽しめます（マイアルバム機能）。
マイアルバムの画像や音声は、SDメモリーカードを入れたままでも、呼び出すことができます。

1 SDメモリーカードが入っているとき、撮影モードで▶再生ボタンを4秒以上押し続ける

押してから2秒後にレンズが収納され、さらに2秒たつとマイアルバムの画像や音声が表示されます。

- マイアルバムの再生は、SDメモリーカードの画像や音声と同じ方法で楽しめます。
- 次の機能を使うには、いったんマイアルバムの再生を終了してください。
  - SDメモリーカードの内容を表示する。
  - SDメモリーカードと内蔵メモリー間でファイルをコピーする。
  - SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする。
- マイアルバムの再生は、次のように終了します。
  - ▶再生ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しする。撮影モードに戻ります。
  - 電源をオフにする。

動画を再生する

動画を再生します（音声も同時に再生されます）。再生中は液晶モニターに操作ガイドが表示され、再生、コマ送り（コマ戻し）再生、一時停止、音量調節などができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で再生したい動画を選ぶ

2　十字キー（▲）を押す

再生が開始します。

- **再生中にできる操作**

十字キー（◀）	：早巻き戻し再生する。
十字キー（▶）	：早送り再生する。
十字キー（▲）	：一時停止する。
OKボタン	：ディスプレイモードを切り替える。（☞p.128）
ズームボタン（♠♠♠/♠）	：音量を調整する。

- **一時停止中にできる操作**

十字キー（◀）	：コマ戻しする。
十字キー（▶）	：コマ送りする。
十字キー（▲）	：一時停止を解除する。（再生する）
OKボタン	：ディスプレイモードを切り替える。（☞p.128）

3　十字キー（▼）を押す

再生が停止し、1コマ目に戻ります。

4　▶再生ボタンを押す

撮影モードに切り替わります。

早巻き戻し、早送り再生中に音声は出ません。

撮影時の情報を表示する

再生モードのときOK／ディスプレイボタンを押すと、「ディスプレイモード」が切り替わります。
「ディスプレイモード」には、次の3種類があります。

通常表示

撮影時の情報を表示します。

1 ボイスメモマーク　**2** カード／内蔵メモリー
3 フォルダ名　**4** ファイル名
5 プロテクトマーク
6 バッテリー残量表示　**7** 撮影日時
8 十字キー操作ガイド

ヒストグラム表示

画像の明度分布を表示します。横軸は明るさ（左端が最も暗く、右端が最も明るい）、縦軸はピクセル数を表わします。

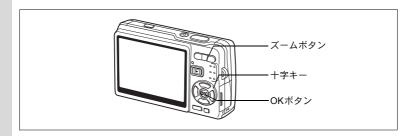
1 記録サイズ　**2** 画質
3 ホワイトバランス　**4** 測光方式
5 感度　**6** ヒストグラム
7 絞り値　**8** シャッター速度

情報表示なし

撮影時の情報を表示しません。

通常表示

液晶モニターの表示モードを保存する☞p.117

- OK／ディスプレイボタンを1秒以上押すと、LCDブースター機能が働いて、液晶モニターが一定時間明るくなります。（☞p.34）
- 動画再生中は、ヒストグラム表示はありません。

9画像表示・カレンダー表示する

9 画像表示する

撮った画像を液晶モニターに同時に9枚ずつ表示できます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で画像を選ぶ

2　ズームボタンの♣♣♣/⊞を押す

9枚の画像が、ひとつのページに表示されます。表示はページ単位で変わります。

十字キー（▲▼◀▶）：選択枠を移動。
十字キー（◀）　　：選択枠が左上の画像にあるとき、前のページを表示。（画像が10枚以上ある場合）
十字キー（▶）　　：選択枠が右下の画像にあるとき、次のページを表示。（画像が10枚以上ある場合）

選択消去　100-0010
選択画像

画像の上に表示される記号の意味を示します。

無印　　　　　：ボイスメモなしの静止画
🎤（画像あり）：ボイスメモ付きの静止画
🎥　　　　　　：動画（1コマ目の画像が表示されます。）
🎤（画像なし）：録音のみのファイル
?　　　　　　 ：表示できない画像

3　OKボタンを押す

選択した画像が全画面表示されます。

手順3で、MENUボタンまたはズームボタンの♣/🔍を押しても、選んだ画像を全画面表示できます。

カレンダー表示する

カレンダー表示では、画像が撮影日ごとに表示されます。撮影日に従って、画像を選ぶことができます。

1 再生モードで1画面表示中に、ズームボタンの /を押す

9画像表示されます。

2 ズームボタンの /を押す

画面がカレンダー表示に切り替わります。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2008.01

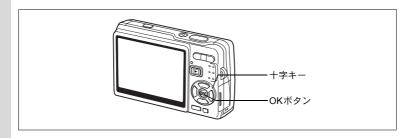
選択した日付

3 十字キー（▲▼◀▶)で、日付を選ぶ

十字キー（▲▼◀▶）：カレンダー上を選択枠が移動。
十字キー (◀）：選択枠が月の最初の日にあるときは、前の月をカレンダー表示。
十字キー (▶）：選択枠が月の最終日にあるときは、次の月をカレンダー表示。

4 OKボタンまたはズームボタンの /を押す

OKボタン：選んだ日付に最初に撮影された画像を、全画面表示。
ズームボタン（ /）：選んだ日付に撮影された画像を、9画像表示。

- その撮影日に最初に記録されたのが音声のみの場合、カレンダーの日付に が表示されます。動画の場合は、最初のコマが表示されます。
- カレンダー表示中にMENUボタンを押すと、カレンダー表示に切り替わる前の9画像表示に戻ります。

スライドショウで連続再生する

SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存された全画像を連続して再生します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でスライドショウを開始する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（スライドショウ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

5　十字キー（◀▶）で表示する間隔を切り替える

「3秒」、「5秒」、「10秒」、「20秒」、「30秒」から選択できます。

6　十字キー（▼）で「画面効果」を選ぶ

7　十字キー（◀▶）で効果を選ぶ

ワイプ	画像を1枚ずつ左にスライドさせる紙芝居のような効果
フェード	現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がる効果
シュリンク	画像が中央部に向かって縮小する効果
オフ	切り替え効果なし

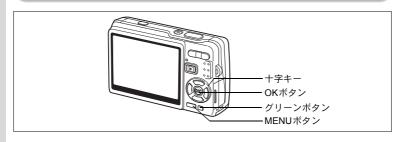
8　十字キー（▼）で「効果音」を選ぶ

9 十字キー（◀▶）で「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

10 OKボタンを押す

「スタート」と表示され、設定した表示間隔でスライドショウが始まります。

OKボタン　　　　　　　：一時停止する。
　　　　　　　　　　　　もう一度押すと、再開する。
OKボタン以外のボタン：停止する。

- スライドショウは、ボタンを押して停止させるまで何度でも繰り返します。
- 動画、ボイスメモ付き画像は、設定した再生間隔にかかわらず、すべて再生されてから次の再生に移ります。
- ボイスレコーディングモードで録音した音声は、再生されません。

画像・動画・音声を消去する

1画像・1動画・1音声ずつ消去する

1画像、1動画、1音声ずつ消去します。

消去した画像・動画・音声は復元できません。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したい画像・動画・音声を選ぶ

2　グリーン／🗑ボタンを押す

消去画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

表示されている画像・動画・音声が消去されます。

- 画像の消去は、クイックビュー表示中に行うこともできます。（☞p.33）
- プロテクトされている画像・動画・音声は、消去できません。（☞p.138）

ボイスメモを消去する

ボイスメモ付きの画像の場合は、画像は消去せずにボイスメモのみを消去することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）で消去したいボイスメモ付きの画像を選ぶ

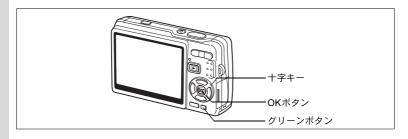
2　グリーンボタンを押す

消去画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「音声消去」を選ぶ

4　OKボタンを押す

ボイスメモが消去されます。

画像とボイスメモの両方を消去するには、手順3で消去を選びます。

まとめて消去する

保存されているすべての画像・動画・音声を消去します。

消去した画像・動画・音声は復元できません。

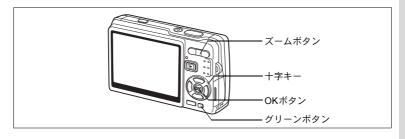
1　再生モードに入り、グリーンボタンを2回押す

全画像・音声消去画面が表示されます。

2　十字キー（▲）で「全画像／音声消去」を選ぶ

3　OKボタンを押す

すべての画像・音声が消去されます。

プロテクトされている画像・動画・音声は消去できません。（☞p.138）

選択して消去する（9画像表示で消去）

9画像表示で複数の画像や音声を選択し、まとめて削除します。

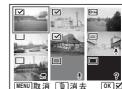
1　再生モードに入り、ズームボタンの /⊞を押す

画像が9コマずつ表示されます。

2　グリーンボタンを押す

画像や音声に「□」が表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で、選択枠を削除したい画像（音声）にあわせ、OKボタンを押す

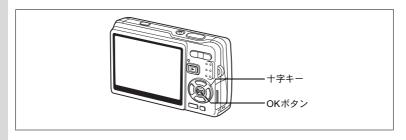
画像が選択され、「☑」が表示されます。
確認してから削除したいときは、画像に選択枠をあわせてズームボタンの /🔍を押すと、全画面表示できます。（プロテクトされた画像は、全画面表示できません。）
OKボタンを押すと、9画像表示に戻ります。

4　グリーンボタンを押す

消去確認画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で「選択消去」を選ぶ

6　OKボタンを押す

選択した画像や音声が消去されます。

プロテクトされている画像・動画・音声は消去できません。（☞p.138）

消去できないようにする（プロテクト）

画像・動画・音声を誤って消去しないようにプロテクト（保護）することができます。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプロテクトする画像・動画・音声を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で O━π（プロテクト）を選ぶ

4　OKボタンを押す

プロテクト画面が表示されます。

画像・動画・音声をプロテクトする

5　十字キー（▲▼）で「1 画像／音声」を選ぶ

6　OKボタンを押す

7　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

8　OKボタンを押す

- プロテクトを解除するには、手順7で解除を選びます。
- プロテクトされた画像・動画・音声には、再生時にO━┳が表示されます。

全画像・動画・音声をプロテクトする

全画像・動画・音声をプロテクトすることができます。

5　十字キー（▲▼）で「全画像／音声」を選ぶ

6　OKボタンを押す

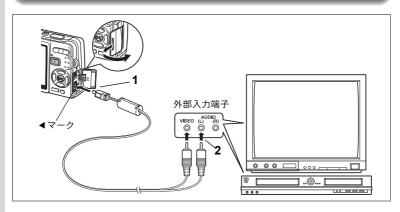
「すべての画像／音声にプロテクト設定を行ないます」というメッセージが表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「プロテクト」を選ぶ

8　OKボタンを押す

手順7で解除を選ぶと、全画像・動画・音声のプロテクト設定が解除されます。

プロテクトされた画像・動画・音声もSDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットすると消去されます。

AV機器で画像を見る

AVケーブルを使用すると、テレビなどビデオ入力端子を備えた機器をモニターにして撮影や再生、あるいは録画ができます。ケーブルを接続するときは、カメラとAV機器の電源を必ずオフにしてください。

1 端子カバーを開き､AV端子に付属のAVケーブルを接続する

ＡＶケーブルの矢印マークとカメラのPC/AV端子の「◀」マークを合わせて接続してください。

2 AVケーブルのもう一方の端子をAV機器に接続する

黄色（映像）　→　ビデオ（映像）入力端子
白（音声）　　→　音声入力端子
※ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL（白）に差し込んでください。

3 AV機器の電源をオンにする

カメラを接続した機器と、画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電源をオンにします。
複数のビデオ入力があるテレビで画像を見るときは、ご使用のテレビの説明書をご確認のうえ、接続しているビデオ入力に切り替えてください。

4 カメラの電源をオンにする

ビデオの出力方式を切り替える☞p.179

- 長時間使用するときは、ACアダプタキットK-AC63J（別売）のご使用をおすすめします。テレビなど接続する機器の使用説明書もご覧ください。
- 国や地域によっては、カメラのビデオ出力方式が初期設定（NTSC）になっていると、画像がうまく映らない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。
- テレビに接続している間は、カメラの液晶モニターはオフになります。

リモコンで再生する（別売）

カメラにAVケーブルが接続されているときには、リモートコントロールEまたはF（別売）を使って静止画を再生できます。

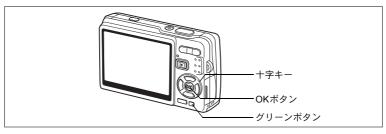
1 ▶再生ボタンを押す

2 リモコンのシャッターボタンまたはズームボタンを押す

シャッターボタン：次の画像を表示。
ズームボタン　　：前の画像を表示。

- リモートコントロールFにはズームボタンがありませんので、シャッターボタン（次の画像表示）操作のみとなります。
- 動画や音声付き画像、音声のみのファイルは、リモコンで再生することができません。

プリントサービスの設定をする（DPOF）

SD メモリーカードに保存した画像は、DPOF（Digital Print Order Format）対応プリンターやラボプリントサービスでプリントできます。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、次の項目の設定をします。
「枚数」:プリントする枚数を設定します。99枚までの設定ができます。
「日付」:プリントする画像に日付を入れるか入れないかを設定します。

1　再生モードに入り、十字キー（◀▶）でプリント指定する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で DPOF（DPOF）を選ぶ

4　OKボタンを押す

DPOF画面が表示されます。

5　OKボタンを押す

6 十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

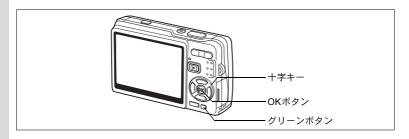
7 グリーンボタンで日付の「☑（オン）／□（オフ）」を設定する

☑（オン）：プリントに日付を入れる。
□（オフ）：プリントに日付を入れない。

8 OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

- すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のオン／オフが表示されます。
- DPOFを解除するには、枚数を「0」に設定して、OKボタンを押します。

- 動画や音声のみのファイルには、DPOF設定はできません。
- プリンターやプリント取扱い店のプリント機器によっては、DPOFの設定で日付をオンにしても、プリントに日付が写し込まれない場合があります。

全画像を設定する

1　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（◀▼▲▶）で DPOF（DPOF）を選ぶ

3　OKボタンを押す

4　十字キー（▼）で「全画像」を選ぶ

5　OKボタンを押す

6　十字キー（▲▼）でプリント枚数を設定する

99枚まで設定ができます。

7　グリーンボタンで日付の「☑（オン）／□（オフ）」を設定する

☑（オン）：プリントに日付を入れる。
□（オフ）：プリントに日付を入れない。

8　OKボタンを押す

設定した値でプリントできます。

全画像設定でプリント枚数の指定をすると、すべてのコマに指定した枚数が設定されます。プリントをする前に必ず、枚数の設定が正しいか確認してください。

- 全画像設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。
- 動画や音声のみのファイルにはDPOF設定できません。

カメラを直接プリンターにつないでプリントする（PictBridge）

付属のUSBケーブル（I-USB7）で、カメラをPictBridge対応プリンターに接続すると、パソコンを介さなくても、カメラからダイレクトに画像をプリントすることができます。プリントする画像の選択やプリントする枚数は、カメラとプリンターを接続した状態で、カメラ側で設定します。

- カメラをプリンターに接続するときは、ACアダプタキットK-AC63J（別売）の使用をおすすめします。プリンターと通信中にバッテリーが消耗すると、プリンターが誤動作したり、画像データが壊れることがあります。
- カメラからプリンターへのデータ転送中は、アクセスランプが点滅します。
- データ転送中にUSBケーブルを抜かないでください。
- プリンターの種類によっては、カメラ側の設定（DPOF の設定など）が一部しか反映されないことがあります。
- 「USB 接続」の初期設定は、「PC」です。「PC」に設定したまま、カメラをプリンターに接続しないでください。

カメラをプリンターに接続する

1 「設定」メニューの「USB接続」で「PictBridge」を選ぶ

USB接続モードを変更する☞p.178

2 カメラを付属のUSBケーブルでプリンターに接続する

PictBridgeメニュー画面が表示されます。

1画像ずつプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「1 画像」を選ぶ

2　OKボタンを押す

1画像印刷画面が表示されます。

3　十字キー（◀▶）でプリントする画像を選ぶ

4　十字キー（▲▼）でプリントする枚数を選ぶ

99枚まで設定ができます。

5　グリーンボタンで、日付の「☑（オン）／□（オフ）」を設定する

☑（オン）：プリントに日付を入れる。
□（オフ）：プリントに日付を入れない。

6　OKボタンを押す

印刷設定の確認画面が表示されます。
プリンター側の印刷設定でプリントするときは、OKボタンを押します。
印刷設定を変更するときは、手順7へ進みます。

7　グリーンボタンを押す

設定変更画面に変わります。

8　「用紙サイズ」を選び、十字キー（▶）を押す

6 再生・消去・画像編集

9 十字キー（▲▼◀▶）で用紙サイズを選ぶ

お使いのプリンターで印刷可能な用紙だけが選択できます。

用紙サイズ

設定	2L
カード	8”x10”
L	A4
100x150	レター
はがき	11”x17”
4”x6”	A3

MENU 取消　　OK 決定

10 OKボタンを押す

11 手順8～10の操作を繰り返して、「用紙タイプ」「印刷品質」「ふち指定」を設定する

「設定」を選択するとプリンターの設定にしたがいます。
用紙タイプは、★の数が多いほど高品質な用紙に対応します。
印刷品質は、★の数が多いほど高品質な印刷を行います。

12 OKボタンを2回押す

設定した値で印刷が開始されます。
MENUボタンを押すと、印刷を中止します。

全画像をプリントする

1 十字キー（▲▼）を押して「全画像」を選ぶ

2 OKボタンを押す

全画像印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で画像の確認ができます。

3 プリント枚数、日付の有無、印刷設定を確認して印刷する

設定のしかたおよび印刷については「1画像ずつプリントする」（p.146～147）の手順4～11をご覧ください。

プリントサービスの設定（DPOF）内容でプリントする

1　十字キー（▲▼）を押して「DPOF指定」を選ぶ

2　OKボタンを押す

DPOF指定印刷画面が表示されます。
十字キー（◀▶）で、画像と印刷設定の確認ができます。

3　プリント枚数、日付の有無、印刷設定を確認して印刷する

プリント枚数、日付の有無の設定のしかたは「プリントサービスの設定をする（DPOF）」（p.142）をご覧ください。印刷については「1画像ずつプリントする」（p.146～147）の手順4～11をご覧ください。

プリンターからカメラを取り外す

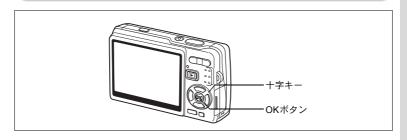
プリントが終了したら、カメラをプリンターから取り外します。

1　カメラの電源をオフにする

2　カメラからUSBケーブルを取り外す

3　プリンターからUSBケーブルを取り外す

カメラの電源をオフにしないでカメラからUSBケーブルを取り外すと、レンズは繰り出さずに再生モードになります。

画像を編集する

画像のサイズと画質を変更する

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、ファイルサイズを元のファイルサイズよりも小さくすることができます。
カード／内蔵メモリーがいっぱいになり撮影できなくなったとき、画像をリサイズして上書きしてください。空き容量が増え、撮影を続けることができます。

1画像ずつリサイズする

サイズや画質を変更した画像は、元の画像に上書き保存することも、新規の画像として保存することもできます。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、リサイズしたい画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）を押して（リサイズ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

リサイズ画像の選択画面が表示されます。

6
再生・消去・画像編集

5 十字キー（◀▶）で記録サイズを変更する

6 十字キー（▼）を押す

選択枠が「画質」に移動します。

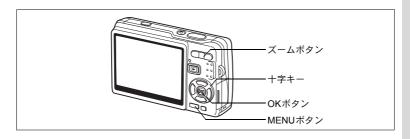
7 十字キー（◀▶）で画質を変更する

8 OKボタンを押す

9 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

10 OKボタンを押す

リサイズされた画像が保存されます。

- 動画のサイズを変更することはできません。
- 元の画像の記録サイズよりも大きな記録サイズは選択できません。
- リサイズの記録サイズは、11M、9M、8M、6M、4M、2Mも選べます。
- プロテクト（O-π）された画像は、上書き保存できません。
- リサイズできるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

画像をトリミングする

画像の一部分をトリミングして、別の画像として保存します。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、トリミングしたい画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ⬚（トリミング）を選ぶ

トリミング
MENU 取消　OK 決定

4　OKボタンを押す

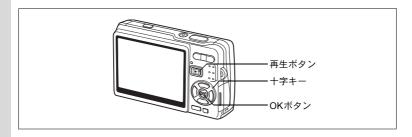
トリミング画面が表示されます。

5　トリミングする

ズームボタン（♠）　：トリミング枠を拡大。
ズームボタン（♠♠♠）：トリミング枠を縮小。
十字キー（▲▼◀▶）：トリミング位置を移動。
MENUボタン　　　：モードパレットに戻る。

6　OKボタンを押す

トリミングされた画像が、別の画像として保存されます。

- 動画はトリミングできません。
- 画像サイズは変更されて保存されます。
- トリミングできるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

画像を回転表示する

静止画を回転して表示させます。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、回転表示させる画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ◇（画像回転）を選ぶ

4　OKボタンを押す

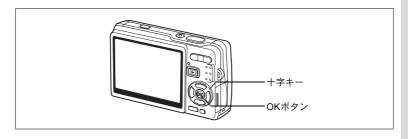
回転画面が表示されます。

5　十字キー（▶）または十字キー（◀）を押す

十字キー（▶）：押すごとに、時計回りに90度ずつ回転。
十字キー（◀）：押すごとに、反時計回りに90度ずつ回転。

6　▶再生ボタンを押す

回転情報を保存して、再生モードに戻ります。

- プロテクト（O-m）した画像も、回転表示できます。ただし、回転情報を保存することはできません。
- 動画は回転表示できません。

カラーフィルタを使って編集する

撮影した静止画像にカラーフィルタ処理を行います。
「白黒」、「セピア」、「カラー（8色から選択）」、「白黒＋赤」、「白黒＋緑」、「白黒＋青」の13種類から選べます。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（カラーフィルタ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

カラーフィルタ画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）で使用したいフィルタを選ぶ

6　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8　OKボタンを押す

カラーフィルタ処理で編集された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

カラー（8色）を選ぶには

5　十字キー（▲▼）で（カラーフィルタ）を選ぶ

カラーバーが表示されます。

6　十字キー（◀▶）で使用したいカラーを選ぶ

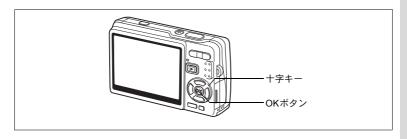
7　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

MENU 取消　OK 決定

8　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

9　OKボタンを押す

カラーフィルタ処理で編集された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

デジタルフィルタを使って編集する

デジタルフィルターを使って、撮影した静止画像に特殊な加工を施します。フィルターは「ソフト」、「イラスト」、「特殊効果1」、「特殊効果2」、「スリム」の5種類から選べます。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（デジタルフィルタ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

デジタルフィルタ画面が表示されます。

5　十字キー（▲▼）でフィルターを選ぶ

6　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8　OKボタンを押す

加工された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

スリムフィルタを設定するには

5　十字キー（▲▼）で［スリムフィルタアイコン］（スリムフィルタ）を選ぶ

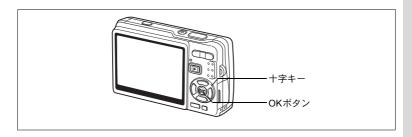
6　十字キー（◀▶）でスリム度を調整する

7　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

8　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

9　OKボタンを押す

加工された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

明るさフィルタを使って編集する

撮影した静止画像の明るさをフィルターで調節します。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する画像を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ☼（明るさフィルタ）を選ぶ

4　OKボタンを押す

明るさフィルタ画面が表示されます。

5　十字キー（◀▶）で明るさを調節する

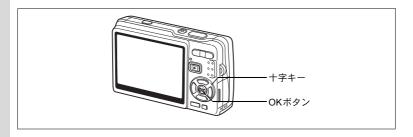
十字キー（▶）：明るくなる。
十字キー（◀）：暗くなる。
明るさは－2.0EV～＋2.0EVの範囲を1/3EV単位で調整します。

6　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

7　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

8　OKボタンを押す

明るさフィルタで編集された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

動画を編集する

撮影した動画中のひとコマを切り出して静止画として保存したり、動画を分割することができます。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、編集する動画を選ぶ

2　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で ✂（動画編集）を選ぶ

4　OKボタンを押す

動画編集画面が表示されます。この画面で各編集機能を選択します。

動画の1コマを静止画として保存する

5　十字キー（▲▼）を押して「静止画保存」を選ぶ

6　OKボタンを押す

コマ選択画面が表示されます。

6
再生・消去・画像編集

7　十字キー（▲）を押して動画を再生し、保存したいところでもう一度（▲）を押して一時停止する

一時停止中は、次の操作ができます。
十字キー（◀）：コマ戻し。
十字キー（▶）：コマ送り。

8　OKボタンを押す

選択したコマが、静止画として保存されます。

動画を分割する

5　動画編集画面で「動画分割」を選ぶ

6　OKボタンを押す

分割位置選択画面が表示されます。

7　十字キー（▲）を押して動画を再生し、分割したいところでもう一度（▲）を押して一時停止する

一時停止中は、次の操作ができます。
十字キー（◀）：コマ戻し。
十字キー（▶）：コマ送り。

8　OKボタンを押す

分割確認画面が表示されます。

9　十字キー（▲▼）で「分割」を選ぶ

10　OKボタンを押す

指定位置で分割した動画が、それぞれ別ファイルに保存されます。

動画抽出する

5　動画編集画面で「動画抽出」を選ぶ

6　OKボタンを押す

動画抽出画面が表示されます。

7　十字キー（▲）で動画を再生して、抽出する動画の先頭で十字キー（▲）を押す

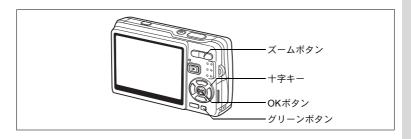
動画が一時停止します。一時停止中は、次の操作ができます。
十字キー（▶）：コマ送り。
十字キー（◀）：コマ戻し。

8　OKボタンを押す

9　十字キー（▲）で動画を再生して、抽出する動画の後尾で十字キー（▲）を押す

動画が一時停止します。一時停止中は、次の操作ができます。
十字キー（▶）：コマ送り。
十字キー（◀）：コマ戻し。

10　OKボタンを押す

抽出した動画が新規保存されます。

赤目を補正する

ストロボ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。

1　再生モードで十字キー（◀▶）を押して、赤目補正する画像を選ぶ

2　十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3　十字キー（▲▼◀▶）で（赤目補正）を選ぶ

4　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。
「正しく処理できませんでした」とエラーメッセージが表示された場合は、「手動で赤目を補正する」（p.162）の手順5に進んでください。

5　十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、新規保存されます。

6　OKボタンを押す

赤目補正された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、画質で保存されます。

- 動画は赤目補正できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。
- 赤目補正できるのは、このカメラで撮影した静止画像のみです。

手動で赤目を補正する

自動では赤目補正できなかった画像の赤目を補正します。

5　OKボタンを押す

「補正する範囲を選択してください」と表示され、補正範囲指定画面が表示されます。

6　赤目補正をする範囲を選択する

十字キー(▲▼◀▶)：選択範囲を移動。
ズームボタン(♠)：選択範囲を拡大。
(♠♠♠)：選択範囲を縮小。

7　グリーンボタンを押す

赤目補正処理を行います。
メッセージが表示されずに元の画面が表示された場合は、処理が正常に行われていますので、手順8に進みます。
「正しく処理できませんでした」とエラーメッセージが表示された場合は、手順5からの処理を繰り返します。

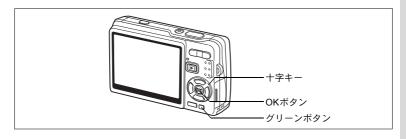
8　OKボタンを押す

上書き確認画面が表示されます。

9　十字キー(▲▼)で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、新規保存されます。

10　OKボタンを押す

赤目補正された画像が、元の画像と同じ記録サイズ、同じ画質で保存されます。

フレーム合成をする

撮影した静止画に、フレーム（飾り枠）を合成します。あらかじめ3種類のフレームが登録されています。

1 再生モードで十字キー（◀▶）を押して、フレーム合成する画像を選ぶ

2 再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

3 十字キー（▲▼◀▶）で♥（フレーム合成）を選ぶ

4 OKボタンを押す

フレームを合成する画面が表示されます。

5 十字キー（◀▶）で合成するフレームを選ぶ

6 OKボタンを押す

上書きを確認する画面が表示されます。

7 十字キー（▲▼）で「上書き保存」または「新規保存」を選ぶ

画像がプロテクトされている場合は、新規保存されます。

8 OKボタンを押す

フレームが合成された画像が、3Mの記録サイズで保存されます。

動画や3M未満のサイズの画像は「フレーム合成」できません。手順4でエラーメッセージが表示されます。

新しく入手したフレームを登録する

手順5でグリーンボタンを押すと、フレーム登録画面に切り替わり、ホームページなどから入手したフレームを使用できます。内蔵メモリー内の3つのフレームと置き換えて使用できます。新しく入手したフレームを使用するには、あらかじめSDメモリーカードにコピーしておきます。

SDメモリーカード内のフレームを登録すると、内蔵メモリーに登録されているフレームと置き換わり、内蔵メモリー内のフレームは削除されます。

1 フレームを選択する画面で、置き換えたいフレームを選び、グリーンボタンを押す

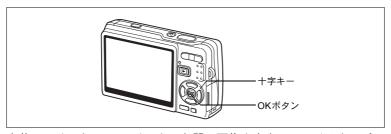
メッセージが表示された後、SDメモリーカード内の使用できるフレームが表示されます。

2 十字キー（◀▶）で登録するフレームを選び、OKボタンを押す

表示されているフレームの代わりに、選択したフレームが登録されます。

新しいフレームは、弊社ホームページの下記URLアドレスからダウンロードできます。

http://www.pentax.co.jp/japan/support/download/digital/frame_02.html

画像・音声をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像や音声のファイルをコピーします。あらかじめカードを入れておかないと、この機能は選択できません。
内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合は、すべてのファイルが一括してコピーされます。SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合は、1ファイルごとに確認しながらコピーします。

1 再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2 十字キー（▲▼◀▶）で （画像／音声コピー）を選ぶ

3 OKボタンを押す

コピー画面が表示されます。ここでコピー方法を選択します。

SDメモリーカードの挿入と取り出しは、必ず電源をオフにしてから行ってください。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

4 十字キー(▲▼)を押して「[内蔵メモリー] ➡ [SD]」を選びOKボタンを押す

すべてのファイルがSDメモリーカードにコピーされます。

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

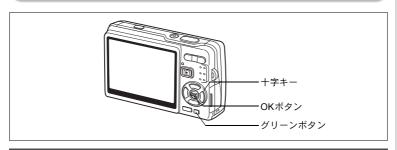
4 十字キー(▲▼)を押して「[SD] ➡ [内蔵メモリー]」を選びOKボタンを押す

5 十字キー(◀▶)でコピーするファイルを選ぶ

6 OKボタンを押す

選んだファイルが内蔵メモリーにコピーされます。

- 音声付きの画像は、画像と同時に音声ファイルもコピーされます。
- SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合、コピーするファイルは新しいファイル名に変更されます。

カメラの設定をする

起動画面を設定する

カメラの電源を入れたときの起動画面を設定します。

1　再生モードで十字キー（▼）を押す

モードパレットが表示されます。

2　十字キー（▲▼◀▶）で （起動画面設定）を選ぶ

3　OKボタンを押す

起動画面の設定画面が表示されます。起動画面は「USER」「オフ」を含む5種類の中から十字キー（◀▶）で選択できます。

撮影した画像を起動画面に設定する（USER以外に設定する場合は手順5へ）

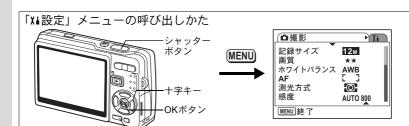
4　画面右上に「USER」と表示された画面でグリーンボタンを押し、十字キー（◀▶）で起動画面にしたい画像を選び、OKボタンを押す

以前に設定した画像を別の画像に変えるには、グリーンボタンを一度押してその画像を消去します。もう一度押すと画像を選択する画面になります。

5　OKボタンを押す

再生できる状態になります。

- 設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SD メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットしても消去されません。
- ビデオ出力中は、起動画面を設定できません。

「設定」メニューの呼び出しかた

SDメモリーカード／内蔵メモリーをフォーマットする

SDメモリーカードに保存されているすべてのデータを消去します。
SDメモリーカードが入っていない場合は、内蔵メモリーのデータが消去されます。

注意

- SDメモリーカードのフォーマット中は、カードを取り出さないでください。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- パソコンなど、このカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリーカードは使用できません。必ずカメラでフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うと、プロテクトされた画像も消去されます。ご注意ください。

1 「設定」メニューの「フォーマット」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

フォーマット画面が表示されます。

3 十字キー（▲）で「フォーマット」を選ぶ

4 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。フォーマットが終わると撮影できる状態になります。

再生モードからフォーマットを行った場合、フォーマットが終わると再生モードに戻るので、「画像／音声がありません」と表示されます。

サウンドの設定を変更する

録音した音声や操作音（起動音、シャッター音、操作音など）の音量を変更します。また操作音の音の種類を変更することもできます。

1 「設定」メニューの「サウンド」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

サウンド画面が表示されます。
選択枠は、「操作音量」にある状態です。

音量を変更する

3 十字キー（◀▶）を押して操作音量を切り替える

4 十字キー（▼）を押して「再生音量」を選ぶ

5 十字キー（◀▶）を押して再生音量を切り替える

6 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

「設定」メニューの呼び出しかた

シャッターボタン
十字キー
OKボタン
MENUボタン

MENU

撮影
記録サイズ 12M
画質 ★★
ホワイトバランス AWB
AF
測光方式
感度 AUTO 800
MENU 終了

音の種類を変更する

3　十字キー（▲▼）を押して「起動音」を選ぶ

サウンド
操作音量
再生音量
起動音 1
シャッター音 1
操作音 1
セルフタイマー音 1
MENU

4　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

5　十字キー（▲▼）で「1」「2」「3」「オフ」のいずれかを選ぶ

6　OKボタンを押す

7　「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」も、同じ手順で設定する

8　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

設定

音の種類を変更する（オリジナルの音声を使う）

カメラで録音した音声を、オリジナルの操作音として使うことができます。
使えるのは、録音した音声のはじめの2秒間です。

1　「音の種類を変更する」の手順5で、「USER」を選ぶ

2　OKボタンを押す

録音済みの音声ファイルの再生画面が表示されます。

設定
フォーマット
サウンド
日時設定
ワールドタイム
Language/言語　日本語
フォルダ名　標準
MENU 終了

3　十字キー（◀▶）でファイルを選ぶ

ファイルを再生して、確認します。
十字キー（▲）：冒頭の2秒間を再生。
十字キー（▼）：再生終了。

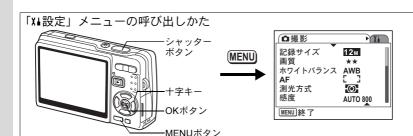
4　OKボタンを押す

選んだ音声が、「USER」音として設定されます。

5　「シャッター音」「操作音」「セルフタイマー音」も、同じ手順で設定する

6　シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

サウンドの設定は、電源をオフにしても保持されます。

日時を変更する

初期設定で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに表示する日付の表示スタイルを設定します。「年／月／日」「月／日／年」「日／月／年」から選べます。

1　「設定」メニューの「日時設定」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

日時設定画面が表示されます。

3　十字キー（▶）を押す

選択枠が「年／月／日」に移動します。

4　十字キー（▲▼）を押して、日付の表示スタイルを設定する

5　十字キー（▶）を押す

選択枠が「24h」に移動します。

6　十字キー（▲▼）を押して、「24h（24時間表示）」または「12h（12時間表示）」を設定する

7　十字キー（▶）を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

7 設定

8 十字キー（▼）を押す

選択枠が「日付」に移動します。

日時設定
表示スタイル　年/月/日　24h
日付　2008/01/01
時刻　0:00
MENU 取消　OK 決定

9 十字キー（▶）を押す

選択枠が「西暦年」に移動します。

10 十字キー（▲▼）を押して、西暦年を設定する

同様に「月」「日」を設定します。
続いて時刻欄を設定します。
手順6で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM/PMが切り替わります。

11 OKボタンを押す

設定が確定されます。

12 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

「設定」メニューの呼び出しかた

ワールドタイムを設定する

「初期設定をする（表示言語と日時の設定）」（p.27）で設定した日時は、「ホームタイム」（通常使用する国・地域の日時）として設定されます。「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用する際、液晶モニターに設定した国・地域の日時を表示できます。

1 「設定」メニューの「ワールドタイム」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ワールドタイムを設定する画面が表示されます。

ワールドタイム
時刻切替 ✈
12:00AM
✈ 目的地
ニューヨーク DST
⌂ 現在地
東京 DST OFF
MENU

3 十字キー（◀▶）で「✈（目的地）／⌂（現在地）」を切り替える

✈（目的地）：「目的地」で選択した都市の時刻を表示。

⌂（現在地）：「現在地」で選択した都市の時刻を表示。

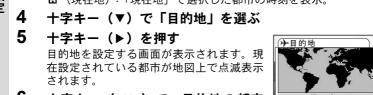
4 十字キー（▼）で「目的地」を選ぶ

5 十字キー（▶）を押す

目的地を設定する画面が表示されます。現在設定されている都市が地図上で点滅表示されます。

6 十字キー（◀▶）で、目的地の都市名を選ぶ

選択した都市の位置、現在地との時差が表示されます。

7 設定

7 十字キー（▼）で「夏時間」を選択する

8 十字キー（◀▶）で、「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

目的地が夏時間を採用している場合は、「☑（オン)」にします。

9 OKボタンを押す

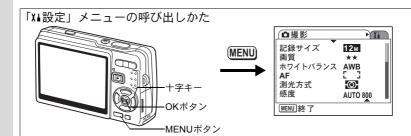
ワールドタイムの設定が保存されます。

10 十字キー（▼）で「現在地」を選ぶ

手順5〜9と同様に設定します。

11 シャッターボタンを半押しする

撮影できる状態になります。

「設定」メニューの呼び出しかた

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどを表示する言語を変更します。
「日本語」「英語」「フランス語」「ドイツ語」「スペイン語」「ポルトガル語」「イタリア語」「オランダ語」「デンマーク語」「スウェーデン語」「フィンランド語」「ポーランド語」「チェコ語」「ハンガリー語」「トルコ語」「ロシア語」「タイ語」「韓国語」「中国語（繁体字／簡体字)」の19言語に対応しています。

1 「設定」メニューの「Language／言語」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

3 十字キー（▲▼◀▶）で言語を切り替える

4 OKボタンを押す

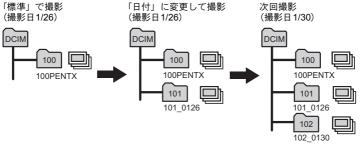
5 MENUボタンを押す

フォルダ名を変更する

画像や音声を保存するフォルダ名の付けかたを選びます。「日付」を選ぶと、撮影日ごとに違うフォルダに保存されるようになります。

フォルダ名

標準	xxxPENTXになります。(xxxは3桁のフォルダ番号)
日付	xxx_mmddになります。(3桁のフォルダ番号_月日)

例

1 「設定」メニューの「フォルダ名」を選ぶ

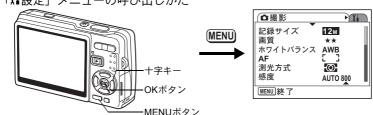
2 十字キー(▶)を押す

ポップアップメニューが表示されます。

3 十字キー(▲▼)で、「標準」「日付」を切り替える

4 OKボタンを押す

- 日付の表示スタイルを「日/月/年」に設定している場合は、xxx_ddmmになります。(3桁のフォルダ番号_日月)
- ひとつのフォルダに、500個のファイルを保存できます。500個を超えると、自動的に次のフォルダが作成されます。

「設定」メニューの呼び出しかた

USB接続モードを変更する

USBケーブルの接続先がプリンター（PictBridge）か、パソコンかによって、USB接続モードを切り替えます。

1　「設定」メニューの「USB接続」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「PC」「PictBridge」を切り替える

4　再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

メモ　カメラとパソコンの接続については、別紙の「PC接続ガイド」をご覧ください。

- 「PictBridge」に設定したままで、カメラをパソコンに接続しないでください。
- 「PC」に設定したままで、カメラをプリンターに接続しないでください。

ビデオ出力方式を選択する

テレビをモニターにして撮影や再生をするときの出力形式を、NTSC方式とPAL方式から選択します。

1　「設定」メニューの「ビデオ出力」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

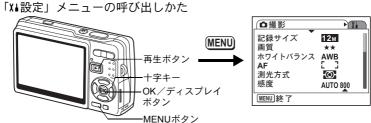
3　十字キー（▲▼）で「NTSC」「PAL」を切り替える

モニターするテレビの出力方式に合わせて選択します。

4　再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

日本国内では、NTSC方式です。

「設定」メニューの呼び出しかた

液晶モニターの明るさを調節する

液晶モニターの明るさを7段階で調節できます。

1　「設定」メニューの「LCDの明るさ」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）で明るさを切り替える

スライダー左側：モニターが暗くなる。
スライダー右側：モニターが明るくなる。

3　再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

OK／ディスプレイボタンを1秒以上押すと、液晶モニターを一定時間明るくすることができます（LCDブースター機能）。屋外などの明るい場所で、液晶モニターが見にくいときにお使いください。(☞p.33, p.34)
ただし次の場合、この機能は使えません。
- メニューやモードパレットを表示しているとき
- ボイスレコーディングモード時

7
設定

節電機能を使う（エコモード）

一定時間操作しないときに、液晶モニターを自動的に暗くするように設定することで、バッテリーの消耗を軽減します。節電機能が働き、液晶モニターが暗くなった場合は、いずれかのボタンを操作すると元の明るさに戻ります。

1　「設定」メニューの「エコモード」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

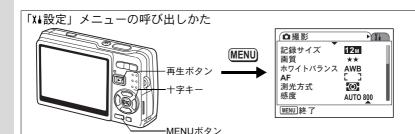
ポップアップメニューが表示されます。

3　十字キー（▲▼）で「2分」「1分」「30秒」「15秒」「5秒」「オフ」のいずれかを選ぶ

4　再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

次の場合、エコモードにはなりません。
- 再生モード中
- USB接続中
- 動画撮影時
- ビデオ出力中
- ACアダプタ使用時
- LCDブースター機能使用中

「Ɣ設定」メニューの呼び出しかた

オートパワーオフを設定する

一定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 「Ɣ設定」メニューの「オートパワーオフ」を選ぶ

2 十字キー（▶）を押す

ポップアップメニューが表示されます。

3 十字キー（▲▼）で「5分」「3分」「オフ」を切り替える

4 ▶再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

次の場合、オートパワーオフは働きません。
- USB接続中
- 動画撮影中
- 動画再生中
- ボイスレコーディング録音中
- ボイスレコーディング再生中
- スライドショウ実行中
- LCDブースター機能使用中

ガイド表示を設定する

「ガイド表示」を「☑（オン）」に設定すると、撮影モードで起動したときや撮影モードに切り替えたときに、現在の撮影モードとグリーンボタンに割り当てている機能を、一時的に表示します。
またモードパレット上でアイコンを選ぶと、モードの説明が表示されます。

設定
フォーマット
サウンド
日時設定
ワールドタイム
Language/言語　日本語
フォルダ名　標準
MENU 終了

1　「設定」メニューの「ガイド表示」を選ぶ

2　十字キー（◀▶）を押して「☑（オン）／□（オフ）」を切り替える

3　▶再生ボタンを押す

再生できる状態になります。

設定をリセットする

「日時設定」、「ワールドタイム」、「Language／言語」、「ビデオ出力」以外の設定内容を初期設定に戻します。

1　「設定」メニューの「リセット」を選ぶ

2　十字キー（▶）を押す

リセット画面が表示されます。

3　十字キー（▲）で「リセット」を選ぶ

4　OKボタンを押す

カメラが初期設定に戻り、撮影または再生できる状態になります。

7
設定

付録

都市名一覧

ワールドタイムで指定できる都市名です。

地域	都市名
北米	ホノルル
	アンカレジ
	バンクーバー
	サンフランシスコ
	ロサンゼルス
	カルガリー
	デンバー
	シカゴ
	マイアミ
	トロント
	ニューヨーク
	ハリファックス
中南米	メキシコシティ
	リマ
	サンティアゴ
	カラカス
	ブエノスアイレス
	サンパウロ
	リオデジャネイロ
ヨーロッパ	リスボン
	マドリード
	ロンドン
	パリ
	アムステルダム
	ミラノ
	ローマ
	コペンハーゲン
	ベルリン
	プラハ
	ストックホルム
	ブダペスト
	ワルシャワ
	アテネ
	ヘルシンキ
	モスクワ
アフリカ・西アジア	ダカール
	アルジェ
	ヨハネスブルグ

地域	都市名
アフリカ・西アジア	イスタンブール
	カイロ
	エルサレム
	ナイロビ
	ジッダ
	テヘラン
	ドバイ
	カラチ
	カブール
	マーレ
	デリー
	コロンボ
	カトマンズ
	ダッカ
東アジア	ヤンゴン
	バンコク
	クアラルンプール
	ビエンチャン
	シンガポール
	プノンペン
	ホーチミン
	ジャカルタ
	香港
	北京
	上海
	マニラ
	台北
	ソウル
	東京
	グアム
オセアニア	パース
	アデレード
	シドニー
	ヌーメア
	ウェリントン
	オークランド
	パゴパゴ

初期設定一覧

工場出荷時の設定を表に示します。

ラストメモリ設定

する　：カメラの電源をオフにしても現在の設定（ラストメモリ）が保存される。
しない：カメラの電源をオフにすると初期設定に戻る。
※　　：「する」／「しない」はモードメモリ（☞p.117）の設定による。

リセット設定

する　：リセット（☞p.183）で初期設定に戻る。
しない：リセットしても設定が保存される。

●「撮影」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
記録サイズ		12M	する	する	p.91
画質		★★	する	する	p.93
ホワイトバランス		**AWB**（オート）	※	する	p.94
AF	AFエリア	[　]（マルチ）	する	する	p.96
	フォーカスリミット	オン	する	する	p.97
	AF補助光	オン	する	する	p.97
測光方式		（分割）	※	する	p.98
感度		AUTO800	※	する	p.99
露出補正		±0.0	※	する	p.101
動画	記録サイズ	640	する	する	p.102
	画質	★★★	する	する	p.103
	Movie SR	オン	する	する	p.104
Shake Reduction		オン	する	する	p.105
デジタルズーム		オン	※	する	p.85
クイックビュー		0.5秒	する	する	p.106
顔認識		オン	する	する	p.107
D-レンジ補正		オフ	する	する	p.108
一気押しPF		オン	する	する	p.109

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
モードメモリ	ストロボモード	オン	―	する	p.89
	ドライブモード	オフ	―	する	p.79～83
	フォーカスモード	オフ	―	する	p.86
	ズーム位置	オフ	―	する	p.84
	MF位置	オフ	―	する	p.87
	ホワイトバランス	オフ	―	する	p.94
	測光方式	オフ	―	する	p.98
	感度	オフ	―	する	p.99
	露出補正	オフ	―	する	p.101
	デジタルズーム	オン	―	する	p.85
	DISPLAY	オフ	―	する	p.50
	ファイルNo.	オン	―	する	―
グリーンボタン		グリーンモード	する	する	p.110
シャープネス		標準	する	する	p.113
彩度		標準	する	する	p.114
コントラスト		標準	する	する	p.115
日付写し込み		オフ	する	する	p.116

●「設定」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
フォーマット		―	―	―	p.168
サウンド	操作音量	3	する	する	p.169
	再生音量	3	する	する	
	起動音	1	する	する	
	シャッター音	1	する	する	
	操作音	1	する	する	
	セルフタイマー音	1	する	する	
日時設定	表示スタイル	初期設定による	する	しない	p.172
ワールドタイム	時刻切替	現在地	する	しない	p.174
	目的地（都市）	現在地と同じ	する	しない	
	目的地（夏時間）	現在地と同じ	する	しない	
	現在地（都市）	初期設定による	する	しない	
	現在地（夏時間）	初期設定による	する	しない	
Language／言語		初期設定による	する	しない	p.27
フォルダ名		標準	する	する	p.177

名称	初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
USB接続	PC	する	する	p.178
ビデオ出力	初期設定による	する	しない	p.179
LCDの明るさ	4	する	する	p.180
エコモード	5秒	する	する	p.181
クイック拡大	オフ	する	する	p.125
オートパワーオフ	3分	する	する	p.182
ガイド表示	オン	する	する	p.182

● 再生モードパレット項目

名称			初期設定	ラストメモリ設定	リセット設定	参照
	スライドショウ	表示間隔	3秒	する	する	p.132
		画面効果	ワイプ	する	する	p.132
		効果音	オン	する	する	p.132
	リサイズ		撮影画像による	しない	—	p.149
	トリミング		—	しない	—	p.151
	画像／音声コピー		キャンセル	しない	—	p.165
	画像回転		正位置	しない	しない	p.152
	カラーフィルタ		白黒	しない	—	p.153
	デジタルフィルタ		ソフト	しない	—	p.155
	明るさフィルタ		0	しない	—	p.157
	動画編集		静止画保存	しない	—	p.158
	赤目補正		—	—	—	p.161
	ボイスメモ		—	—	—	p.122
	プロテクト		1画像／音声	する	しない	p.138
DPOF	DPOF		1画像	する	しない	p.142
OPTIO	起動画面設定		Optioロゴ画面	する	しない	p.167
	フレーム合成		—	する	する	p.163

● 各撮影モードの使える機能と使えない機能

○：使えます　×：使えません

		AUTO PICT	P	Tv	M						
ストロボモード	オート	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	発光禁止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	強制発光	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	オート+赤目	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	強制+赤目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ソフト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドライブモード	セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	連続撮影	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	多重露出	※18	※18	※18	※18	※18	※18	※18	※18	※18	※19
	リモコン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フォーカスモード	標準（オートフォーカス）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マクロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	スーパーマクロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	パンフォーカス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	無限遠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マニュアルフォーカス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
撮影メニュー	記録サイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※9
	画質	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホワイトバランス	※1	○	○	○	○	※1	※1	※1	※1	※1
	AFエリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フォーカスリミット	○	○	○	○	○	○	※7	○	○	○
	AF補助光	○	○	○	○	○	※7	○	○	○	○
	測光方式	※2	○	※4	※4	○	※2	※2	※2	※2	※2
	感度	○	○	※5	※6	○	○	○	○	○	○
	露出補正	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○
	顔認識	※0	○	○	○	○	○	○	※0	※0	※0
	D-レンジ補正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	シャープネス	※3	○	○	○	○	※3	※3	※3	※3	※3
	彩度	※3	○	○	○	○	※3	※3	※3	※3	※3
	コントラスト	※3	○	○	○	○	※3	※3	※3	※3	※3
	日付写し込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他の機能	デジタルズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	インテリジェントズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	LCDオフ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※0 オンに固定
※1 AWBに固定
※2 分割測光に固定
※3 標準に固定
※4 分割測光は選択不可
※5 AUTO800に固定
※6 AUTOは選択不可
※7 オフ（変更可）
※8 発光禁止（変更可）
※9 （Digital SR）は5Mに、（ベストフレーミング）と（フレーム合成）は3Mに固定

グリーンモードの設定については、p.57をご覧ください。

8
付録

○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	オート	ストロボモード
○	○	○	※8	※8	○	○	○	○	－	発光禁止	
○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	強制発光	
○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	オート+赤目	
○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	強制+赤目	
○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	ソフト	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	セルフタイマー	ドライブモード
○	○	○	○	○	○	○	×	×	－	連続撮影	
※18	※18	※18	※18	※18	※18	※18	×	×	－	多重露出	
○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	リモコン	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	標準(オートフォーカス)	フォーカスモード
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	マクロ	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	スーパーマクロ	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	パンフォーカス	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	無限遠	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	マニュアルフォーカス	
○	○	※9	○	○	○	○	※9	○	－	記録サイズ	撮影メニュー
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	画質	
※1	※1	○	※1	※1	※1	※1	○	○	－	ホワイトバランス	
※15	○	○	※15	※15	○	○	※10	※11	－	AFエリア	
○	○	○	○	※7	※7	※7	○	※12	－	フォーカスリミット	
※17	○	○	※17	※17	○	○	○	※12	－	AF補助光	
※2	※2	○	※2	※2	※2	※2	○	※13	－	測光方式	
○	○	○	○	○	○	○	○	※16	－	感度	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	露出補正	
※0	○	○	○	○	○	○	○	○	－	顔認識	
○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	D-レンジ補正	
※3	※3	○	※3	※3	※3	※3	○	○	－	シャープネス	
※3	※3	○	※3	※3	※3	※3	○	○	－	彩度	
※3	※3	○	※3	※3	※3	※3	○	○	－	コントラスト	
○	○	○	○	○	○	○	○	×	－	日付写し込み	
○	○	○	○	○	○	○	○	※14	－	デジタルズーム	その他の機能
○	○	×	○	○	○	○	○	×	－	インテリジェントズーム	
○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	LCDオフ	

※10 自動追尾AFは選択不可
※11 スポットに固定
※12 オフに固定
※13 中央部重点に固定
※14 Movie SRがオフのときのみ使用可
※15 自動追尾AF（変更可）
※16 オートに固定
※17 自動追尾AF時以外は使用可
※18 5Mに固定
※19 3Mに固定

別売アクセサリー一覧

本機には、別売アクセサリーとして以下の製品が用意されています。
（※）の付いている製品は同梱品と同じものです。

- **電源関連**
  充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8（※）
  バッテリー充電器キット K-BC8J（※）
  （バッテリー充電器 D-BC8、ACコード D-CO2Jのセット）
  ACアダプターキット K-AC63J
  （ACアダプター D-AC63、ACコード D-CO2Jのセット）

- **接続ケーブル**
  USBケーブル I-USB7（※）
  AVケーブル I-AVC7（※）

- **ストラップ**
  チェーンストラップ O-ST8
  ストラップ O-ST20（※）
  レザーストラップ O-ST24（本革製）
  スポーツストラップO-ST30（防水加工）

- **ケース**
  カメラケース O-CC73

- **リモコン**
  リモートコントロールE（ズーム対応品）
  リモートコントロールF

メッセージ一覧

カメラを使用中に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

メッセージ	内容
Shake Reductionがオフです	「📷 撮影」メニューのShake Reductionがオフの状態で、Shake Reductionプレビューボタンを押したときに表示されます。「📷 撮影」メニューでShake Reductionをオンにしてください。(p.105)
圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質／サイズを変えて、もう一度撮影してください。
画像／音声がありません	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに再生できる画像が保存されていません。
カードの空き容量がありません	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。(p.23, 134) 画質または記録サイズを変えると保存できる可能性があります。(p.149)
内蔵メモリーの空き容量がありません	
画像／音声が作成できません	カメラの仕様により、大容量のSDメモリーカードをセットしている場合でも10000枚までしか撮影できません。続けて撮影するためには、SDメモリーカード内の画像を消去してください。
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影／再生ともにできません。パソコンでは表示できる場合もあります。
カードがフォーマットされていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットされているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモリーカードがセットされています。(p.168)
カードがロックされています	ロックされたSDメモリーカードが装着されています。メニュー操作、モード切り替えだけができます。
記録中です	画像を記録中に再生モードに切り替えたとき、またはプロテクト、DPOF設定記録中に表示されます。画像または設定の記録終了後に表示が消えます。
処理中です	画像をSDメモリーカードあるいは内蔵メモリーに記録しています。
	画像のプロテクト設定やDPOF設定を変更しています。
	動画を記録しています。
	デジタルフィルタ処理中や動画を編集中、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマット中に表示されます。
消去中です	画像や音声を消去中に表示されます。
この画像／音声を再生できません	このカメラでは再生できない画像や音声を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。

メッセージ	内容
電池容量がなくなりました	バッテリー残量がありません。バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。（p.16）
フォルダが作成できません	最大のフォルダNo.とファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。新しいSDメモリーカードをセットするか、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーをフォーマットしてください。（p.23, 168）
プロテクトされています	プロテクトされた画像や音声を消去しようとした場合に表示されます。
この画像／音声を処理できません	画像のリサイズ設定、トリミング設定、プロテクト設定、DPOF設定や動画編集、デジタルフィルタ使用時に処理できない画像を選択したときに表示されます。
処理できる画像がありません	再生モードパレットで処理できるファイルが存在しません。

PictBridge機能を使用する場合に、液晶モニターに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

メッセージ	内容
用紙がありません	接続したプリンターの用紙がない場合に表示されます。
インクがありません	接続したプリンターのインクがない場合に表示されます。
プリンターエラーです	接続したプリンターでエラーメッセージが送られた場合に表示されます。
データエラーです	接続したプリンターからデータに関してのメッセージが送られた場合に表示されます。
用紙が詰まりました	接続したプリンターで紙詰まりが起こった場合に表示されます。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが入っていない	バッテリーが入っているか確認し、入っていなければ、入れてください。（p.16）
	バッテリーの入れかたを間違えている	バッテリーの向きを確認し、入れ直してください。（p.16）
	バッテリーの残量がない	バッテリーを充電してください。（p.17）
	寒さでバッテリーの性能が一時的に低下した	バッテリーをポケットに入れるなどして温めてからご使用ください。
液晶モニターに何も表示されない	液晶モニターがオフにセットされている	OK／ディスプレイボタンを押すと、液晶モニターがオンになります。
	表示はされているが、確認しづらい	日中屋外での撮影は、液晶モニターが表示されていても、確認しづらいことがあります。LCDの明るさを上げてみてください。
シャッターが切れない	ストロボが充電中	ストロボアイコンが液晶モニター上で赤色に点滅している間は、ストロボが充電中で撮影できません。充電が完了するとストロボアイコンが赤色に点灯します。
	SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を消去してください。（p.23, 134）
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。
	SDメモリーカードに記録された画像、動画、音声のファイルが10000枚に達した	SDメモリーカードを交換するか、不要な画像を消去してください。
撮影した写真が暗い	夜景などの暗い場所で撮るものまでの距離が遠い	撮るものまでの距離が遠すぎると、撮影した画像が暗くなります。ストロボの光がとどく範囲で撮影してください。
	背景が暗い	夜景など暗い背景で人物の写真を撮ると、人物は適正露出でも背景にはストロボの光がとどきませんので暗くなってしまうことがあります。（夜景モード）にセットして撮影すると、人物も夜景もきれいに撮ることができます。（p.50, 73）

現象	原因	対処方法
ピントが合わない	オートフォーカスの苦手なものを撮影しようとしている	コントラストの低いもの（青空や白壁など）、暗いもの、細かい模様のもの、速く動いているもの、窓やネット越しの風景などは、オートフォーカスが苦手なものです。フォーカスロックを使って撮影するか（p.32）、マニュアルフォーカスモードで撮影してください（p.87）。
	AFエリアに被写体が入っていない	液晶モニター中央の［　］(AFエリア)に、ピントを合わせたいものを入れてください。撮りたいものがＡＦエリアに入れにくいときは、撮りたいものにピントを合わせてフォーカスロックし、撮りたい構図になおして撮影します（p.32）。
	被写体が近すぎる	フォーカスモードを🌷（マクロ）またはs🌷（スーパーマクロ）にセットしてください。（p.86）
	フォーカスモードが🌷（マクロ）またはs🌷（スーパーマクロ）になっている	フォーカスモードが🌷（マクロ）またはs🌷（スーパーマクロ）にセットされているときは、通常の撮影域にはピントが合いません。
ストロボが発光しない	ストロボの発光方法が発光禁止になっている	⚡A（オート）または⚡（強制発光）に設定してください。（p.89）
	撮影モードが🎥（動画モード）にセットされているか、連続撮影、無限遠モード、🏃(スポーツモード)、🐶(ペットモード）に設定されている	これらのモードではストロボは発光しません。 🏃(スポーツモード)、🐶（ペットモード）は、ストロボの発光禁止を解除できます。
パソコンとのUSB接続がうまくいかない	カメラのUSB接続モードが「PictBridge」になっている	USB接続モードを「PC」に切り替えてください。（p.178）
プリンターとのUSB接続がうまくいかない	カメラのUSB接続モードが「PC」になっている	USB接続モードを「PictBridge」に切り替えてください。（p.178）

静電気などの影響により、まれにカメラが正しく動作しなくなることがあります。このような場合には、いったん電池を入れなおしてください。カメラが正常に動作すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

主な仕様

カメラ本体

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ	
有効画素数	1200万画素	
撮像素子	総画素数1240万画素 原色フィルター／インターライントランスファー 1/1.7型CCD	
記録画素数	静止画	12M (4000×3000)、10M (3648×2736)、7M (3072×2304)、5M (2592×1944)、3M (2048×1536)、1024 (1024×768)、640 (640×480) Digital SRモード、多重露出時は5M (2592×1944)、ベストフレーミング、フレーム合成モードは3M（2048×1536)に固定
	動画	640 (640×480)、320（320×240）
感度	オート、マニュアル（50/100/200/400/800/1600/3200*） *ただし、3200はDigital SRモード時のみ	
記録方式	静止画	JPEG（Exif2.2）、DCF準拠、DPOF対応、PRINT Image Matching III対応
	動画	AVI（MPEG-4準拠DivX）、約30フレーム／秒、音声あり、Movie SR（25fpsで撮影したものを約30fpsで記録）
	音声	WAV（PCM方式）、モノラル、最大録音可能時間　約17時間11分28秒（1GBのSDメモリーカード使用時）
画質	S.ファイン、ファイン、エコノミー	
記録媒体	内蔵メモリー（約21MB)、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード	

撮影枚数と時間（1GBのSDメモリーカードを使用した場合）
静止画

画質 ／ 記録サイズ	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー	音声
12M	201枚	291枚	404枚	17時間 11分28秒
10M	242枚	350枚	486枚	
7M	342枚	495枚	685枚	
5M	481枚	695枚	963枚	
3M	728枚	1053枚	1458枚	
1024	1856枚	2682枚	3714枚	
640	3405枚	4918枚	6811枚	

動画

画質 ／ 記録サイズ	★★★ S.ファイン	★★ ファイン	★ エコノミー
640（640×480）	46分0秒	57分38秒	69分11秒
320（320×240）	177分56秒	221分3秒	254分52秒

＊ 撮影枚数は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影枚数・撮影時間・録音時間は異なることがあります。

ダイナミックレンジ補正	ダイナミックレンジ補正可能（オート、マニュアル）	
ホワイトバランス	オート、太陽光、日陰、白熱灯、蛍光灯、マニュアル	
レンズ	焦点距離	7.9mm～23.7mm（35ミリフィルム換算：37～111mm相当）
	最大F値	F2.8～F5.4
	レンズ構成	5群7枚（両面非球面レンズ2枚、片面非球面レンズ1枚）
	ズーム方式	電動式
	撮影範囲	約64.9mm×48.6mmを画面いっぱいに撮影可能（スーパーマクロモード時）
	レンズバリアー	電動式
インテリジェントズーム	10M(3648×2736)時 約3.3倍、7M(3072×2304)時 約3.9倍、5M(2592×1944)時 約4.6倍、3M(2048×1536)時 約5.7倍、1024(1024×768)時 約11.4倍、640(640×480)時 約17.9倍（光学3倍ズームと合わせたズーム倍率）	
デジタルズーム	約6倍、（画素数にかかわらず光学3倍ズームと合わせ、最大約17.9倍相当）	
液晶モニター	広視野角2.5型TFTカラーLCD、約23.2万画素（バックライト付）、微反射タイプ、輝度調節3段階（エコモード、ノーマル、LCDブースター）	
再生機能	1コマ、インデックス(9画面)、カレンダー、拡大(最大8倍まで、スクロール可)、動画再生、音声再生、ヒストグラム表示、選択消去、再生モードパレット（スライドショウ、リサイズ、トリミング、画像／音声コピー、画像回転、カラーフィルタ、デジタルフィルタ、明るさフィルタ、動画編集、赤目補正、ボイスメモ、プロテクト、DPOF、起動画面設定、フレーム合成）	
	カラーフィルタ	白黒、セピア、カラーフィルタ（バー表示、8色）、白黒＋赤、白黒＋緑、白黒＋青
	デジタルフィルタ	ソフト、イラスト、特殊効果1、特殊効果2、スリム
	明るさフィルタ	明るさフィルタ
フォーカス	オートフォーカス方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式、AF補助光、5点マルチ／スポット／自動追尾切替、シャッターボタン半押しによるフォーカスロック可能
	フォーカス範囲	ノーマル：約0.35m～∞（ズーム全域） マクロ：約0.12m～約0.4m（ワイド端～11.5mm時） スーパーマクロ：約0.06m～約0.15m（ワイド端） 遠景、パンフォーカス、マニュアルフォーカス 切替可
露出機構	測光方式	撮像素子によるTTL測光（分割、中央部重点、スポット）
	露出モード	ピクチャーモード、プログラム、シャッター優先、マニュアル
	露出補正	±2EV（1/3EVステップで設定可能）
撮影モード	グリーン、モードパレット（オートピクチャー、プログラム（Tv、Mも選択可）、夜景、動画、ボイスレコーディング、風景、花、美肌（ポートレート、ベストフレーミングも選択可）、キッズ、Digital SR、スポーツ（サーフ&スノーも選択可）、ペット、テキスト、料理、フレーム合成）	
動画	撮影時間	約1秒からメモリー容量いっぱいまで（ただし連続して撮影できる最大ファイルサイズは2GBです）
	編集機能	静止画保存、動画分割、動画抽出
シャッター	型式	メカニカル併用電子シャッター
	速度	約1/2000秒～約4秒

ストロボ	型式	赤目軽減機能付オートストロボ
	発光モード	オート、発光禁止、強制発光、オート＋赤目軽減、強制発光＋赤目軽減、ソフト
	撮影範囲	ワイド 約0.06m〜約7.1m（ISO感度AUTO 800の時） テレ　約0.35m〜約3.5m（ISO感度AUTO 800の時）
ドライブモード	1コマ撮影、10秒セルフタイマー撮影、2秒セルフタイマー撮影、多重露出、多重露出（2秒セルフ／3秒リモコン）、連続撮影、3秒後リモコン撮影、即リモコン撮影	
セルフタイマー	電子制御式、作動時間：約10秒、約2秒	
時計機能	ワールドタイム設定、世界75都市に対応（28タイムゾーン）	
電源	充電式リチウムイオンバッテリー D-LI8、ACアダプタキット（別売）	
バッテリー寿命	静止画撮影	約180枚（液晶モニターオン、ストロボ使用率50％、23℃、充電式リチウムイオンバッテリーD-LI8を使用した場合） ※撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。
	再生時間	約200分 ※時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。
	最大充電時間	約100分
入出力ポート	PC/AV端子（PC通信方式USB2.0・ハイスピード対応）、外部電源端子	
ビデオ出力方式	NTSC/PAL	
大きさ	91（幅）×56.5（高）×23.5（厚）mm（操作部材および小突起部を除く）	
質量	130g（電池、SDメモリーカード含まず）	
撮影時質量	150g（電池、SDメモリーカード含む）	
主な付属品	充電式リチウムイオンバッテリー、バッテリー充電器、ACコード、USBケーブル、ソフトウェア（CD-ROM）、AVケーブル、ストラップ、使用説明書	

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中［ご購入後 1 年間］は、保証書［販売店印および購入年月日が記入されているもの］をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - 使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - 火災・天災・地変等による故障。
   - 保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等）による故障。
   - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
   - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後 5 年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。

6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。［保証期間中のみ有効］

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

ペンタックスピックアップリペアサービス

全国（一部の離島を除く）どこからでも均一料金で修理品梱包資材のお届け・修理品のお引取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供する便利なサービスです。

電話受付
　0120-737-919（フリーダイヤル）
　03-3975-4314（携帯・PHS・IP電話用）
　受付時間：　午前9:00～午後5:00
　（土・日・祝日・年末年始および弊社休業日を除く）

インターネット受付
　URL：http://service.pentax.jp/repair.html

FAX受付
　FAX:03-3975-4318
　インターネット受付のURLアドレスからFAX申込書をダウンロードしてお使いください。

[宅配便・郵便修理受付・修理に関するお問い合わせ]

ペンタックスサービス(株)東日本修理センター　03-3975-4341(代)
　〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2
　ペンタックス（株）流通センター内
　営業時間：　午前9:00 ～午後5:00
　（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス(株)西日本修理センター　06-6271-7996(代)
　〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階
　営業時間：　午前9:00 ～午後5:00
　（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

索引

8 付録

8 付録